

都民の AI に関する意識調査

令和 8 年 2 月

デジタルサービス局

まえがき

東京都では、令和7年7月に「東京都 AI 戦略」を公表し、都政における AI 利活用に加え、社会全体における AI の活用促進を掲げ、取組を推進することとしており、「都民の AI に関する意識調査」は、都民の AI に対する意識やリテラシー等の状況や変化を定期的に把握し、施策へ反映させることを目的として実施しています。

この意識調査が、行政担当者のみならず、広く都民の方々や、都民の AI に対する意識等に関心のあるの方々のお役に立てれば幸いです。

この意識調査にご協力いただいた多くの皆様に深く感謝申し上げます。

令和8年2月

東京都デジタルサービス局デジタル戦略部

目次

調査実施の概要	4
調査結果の詳細	8
1 AI を含むデジタルの利用状況.....	8
2 AI に対するイメージと価値観.....	26
3 情報リテラシーに関すること	38
4 AI リテラシー向上施策に対する希望.....	42
5 行政サービスにおける AI 活用の受容度	48
6 AI 利用と将来展望	54
調査票.....	58

調査実施の概要

1 調査目的

都民の AI に対する意識やリテラシー等の状況や変化を定期的に把握し、施策へ反映させる。

2 調査項目

- (1) AI を含むデジタルの利用状況
- (2) AI に対するイメージと価値観
- (3) 情報リテラシーに関すること
- (4) AI リテラシー向上施策に対する希望
- (5) 行政サービスにおける AI 活用の受容度
- (6) AI 利用と将来展望

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都在住の 15 歳以上の男女
- (2) 標本数：10,082 人
- (3) 調査方法：インターネット調査、郵送調査及び対面調査
- (4) 調査期間：令和 7 年 11 月 7 日～令和 8 年 1 月 16 日
- (5) 調査実施機関：株式会社 MM 総研

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率）：10,082 標本（98.5%）[うちインターネット 9,521 標本、郵送 500 標本、対面 61 標本]
- (2) 未完了標本数（率）：152 標本（1.5%）（すべて無効回収）

(3) 性・年齢別回収結果

		回答数	%
全体		10,082	100.0
1	男性／19 歳以下	227	2.3
2	男性／20-29 歳	684	6.8
3	男性／30-39 歳	734	7.3
4	男性／40-49 歳	840	8.3
5	男性／50-59 歳	909	9.0
6	男性／60-69 歳	611	6.1
7	男性／70 歳以上	1,033	10.2
8	女性／19 歳以下	218	2.2
9	女性／20-29 歳	686	6.8
10	女性／30-39 歳	717	7.1
11	女性／40-49 歳	807	8.0
12	女性／50-59 歳	877	8.7
13	女性／60-69 歳	597	5.9
14	女性／70 歳以上	1,025	10.2
15	その他／19 歳以下	2	0.0
16	その他／20-29 歳	7	0.1
17	その他／30-39 歳	9	0.1
18	その他／40-49 歳	6	0.1
19	その他／50-59 歳	5	0.0
20	その他／60-69 歳	1	0.0
21	その他／70 歳以上	1	0.0
22	回答しない／19 歳以下	23	0.2
23	回答しない／20-29 歳	21	0.2
24	回答しない／30-39 歳	20	0.2
25	回答しない／40-49 歳	7	0.1
26	回答しない／50-59 歳	7	0.1
27	回答しない／60-69 歳	4	0.0
28	回答しない／70 歳以上	4	0.0

5 標本構成 (n=10,082)

(1) 性別 (問1)

		回答数	%
全体		10,082	100.0
1	男性	5,038	50.0
2	女性	4,927	48.9
3	その他	31	0.3
4	回答しない	86	0.9

(2) 年齢 (問2)

		回答数	%
全体		10,082	100.0
1	19歳以下	470	4.7
2	20～29歳	1,398	13.9
3	30～39歳	1,480	14.7
4	40～49歳	1,660	16.5
5	50～59歳	1,798	17.8
6	60～69歳	1,213	12.0
7	70歳以上	2,063	20.5

(3) 職業 (問3)

		回答数	%
全体		10,082	100.0
1	会社員（正社員）	3,545	35.2
2	会社員（契約社員・派遣社員・パート・アルバイト）	1,544	15.3
3	公務員	275	2.7
4	自営業・フリーランス	684	6.8
5	専門職（医師、弁護士など）	162	1.6
6	専業主婦／主夫	1,239	12.3
7	学生	620	6.1
8	無職・リタイア	1,816	18.0
9	その他	197	2.0

(4) 同居家族 (問 4) (MA)

		回答数	%
全体		10,082	100.0
1	配偶者	4,791	47.5
2	子ども	2,652	26.3
3	孫	130	1.3
4	両親 (父母のいずれか、または両方)	1,809	17.9
5	祖父母 (いずれか、または両方)	101	1.0
6	兄弟・姉妹	760	7.5
7	その他 (叔父・叔母、いとこ、義理の家族など)	138	1.4
8	同居している家族はいない	3,078	30.5

【報告書を読む際の注意】

- * 集計結果は百分率 (%) で示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。
- * 個々の比率の合計は、全体の計に一致しないことがある。
- * n (number of cases) は、質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。
- * 複数回答方法… (MA) = いくつでも選択、(3MA) = 3 つまで選択
- * M.T. は回答の合計を n で割った比率に 100 を乗じた数

調査結果の詳細

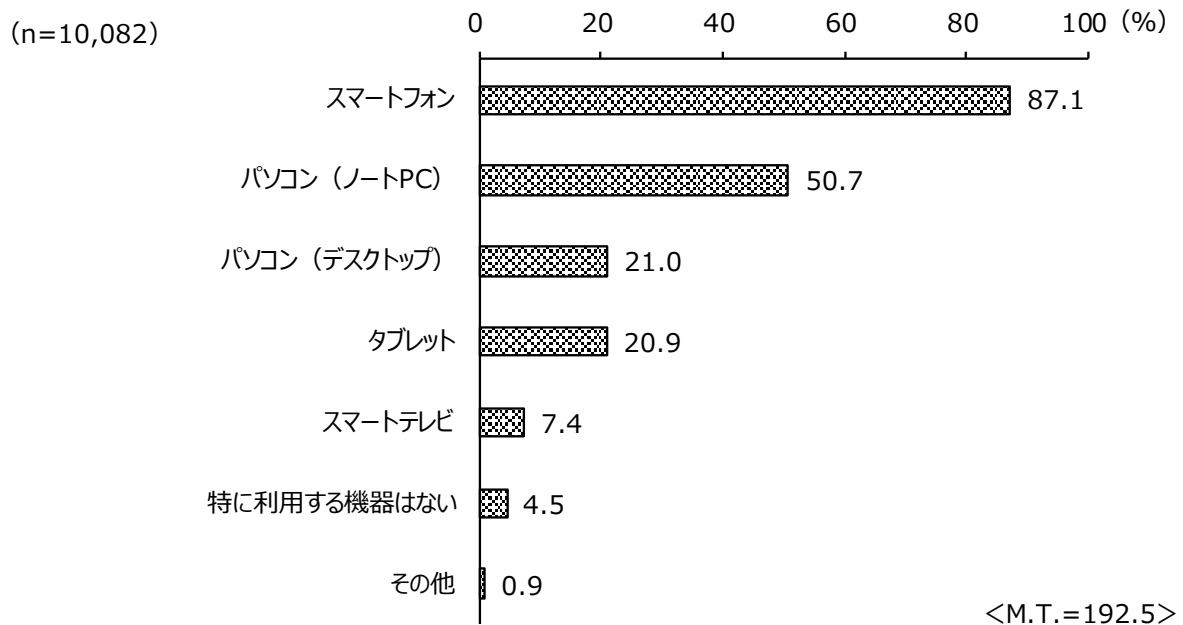
1 AI を含むデジタルの利用状況

(全員の方に)

問5 あなたは普段、インターネットをどのような機器で利用していますか？ (MA)

普段利用しているインターネット機器を聞いたところ、「スマートフォン」は87.1%、「パソコン（ノートPC）」は50.7%となっている。

図 1-1 インターネット利用機器



年齢別にみると、「スマートフォン」は40代で91.6%と最も高くなっている。「パソコン（ノートPC）」は60代で61.2%と最も高くなっている。

表 1-1 インターネット利用機器 - 男女別、年齢別

	n	スマートフォン	パソコン (デスクトップ)	パソコン (ノートPC)	タブレット	スマートテレビ	その他	特に利用する機器はない
全体	10,082	87.1	21.0	50.7	20.9	7.4	0.9	4.5
<男女別>								
男性	5,038	87.0	26.9	56.5	23.0	8.6	1.2	3.9
女性	4,927	87.9	15.2	45.5	18.9	6.2	0.6	4.4
<年齢別>								
10代	470	81.5	14.3	32.6	30.4	7.0	1.9	14.0
20代	1,398	90.0	15.7	43.1	24.2	6.7	1.1	6.8
30代	1,480	90.5	17.8	42.1	20.6	8.2	0.8	5.9
40代	1,660	91.6	19.9	48.7	21.0	9.1	0.6	3.4
50代	1,798	90.9	22.4	56.8	20.4	7.3	0.6	1.1
60代	1,213	86.1	24.8	61.2	19.4	9.0	0.8	1.2
70代以上	2,063	77.7	25.7	56.4	17.8	5.2	1.1	5.5

(注) 男女別については、「その他」及び「回答しない」を選択した方を除いて集計している（以下同様）。

(全員の方に)

問6 あなたはインターネットをどのくらいの頻度で利用しますか？(SA)

インターネットの利用頻度を聞いたところ、「1日に複数回利用する」は86.0%、「週に数回利用する」は5.5%、「月に数回利用する」は1.7%、「ほとんど利用しない」は6.8%となっている。

図 1-2-1 インターネット利用頻度

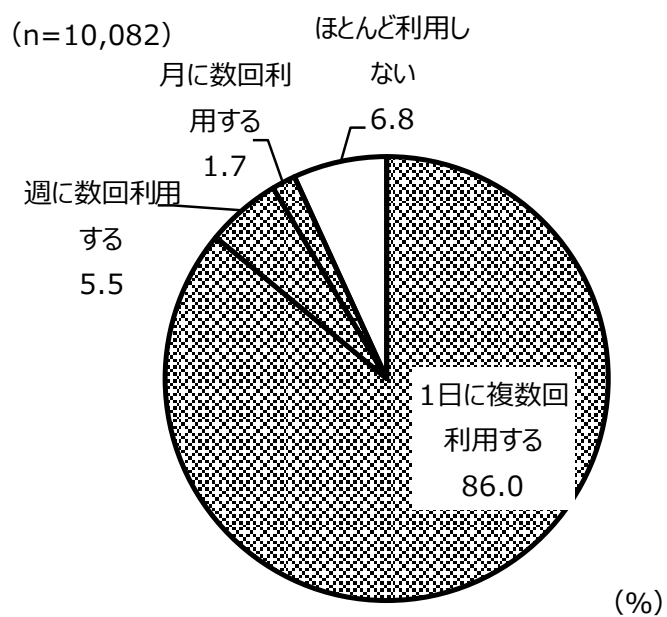
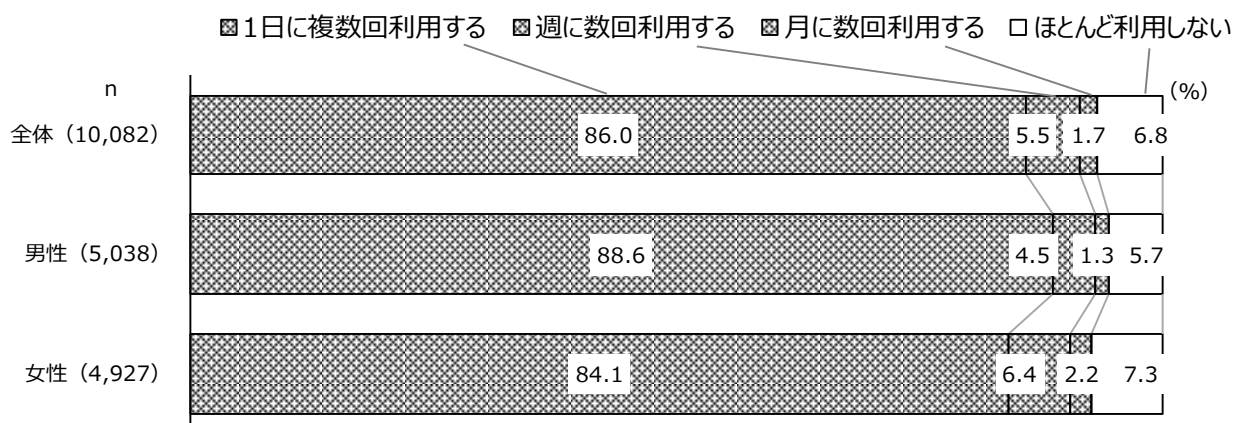
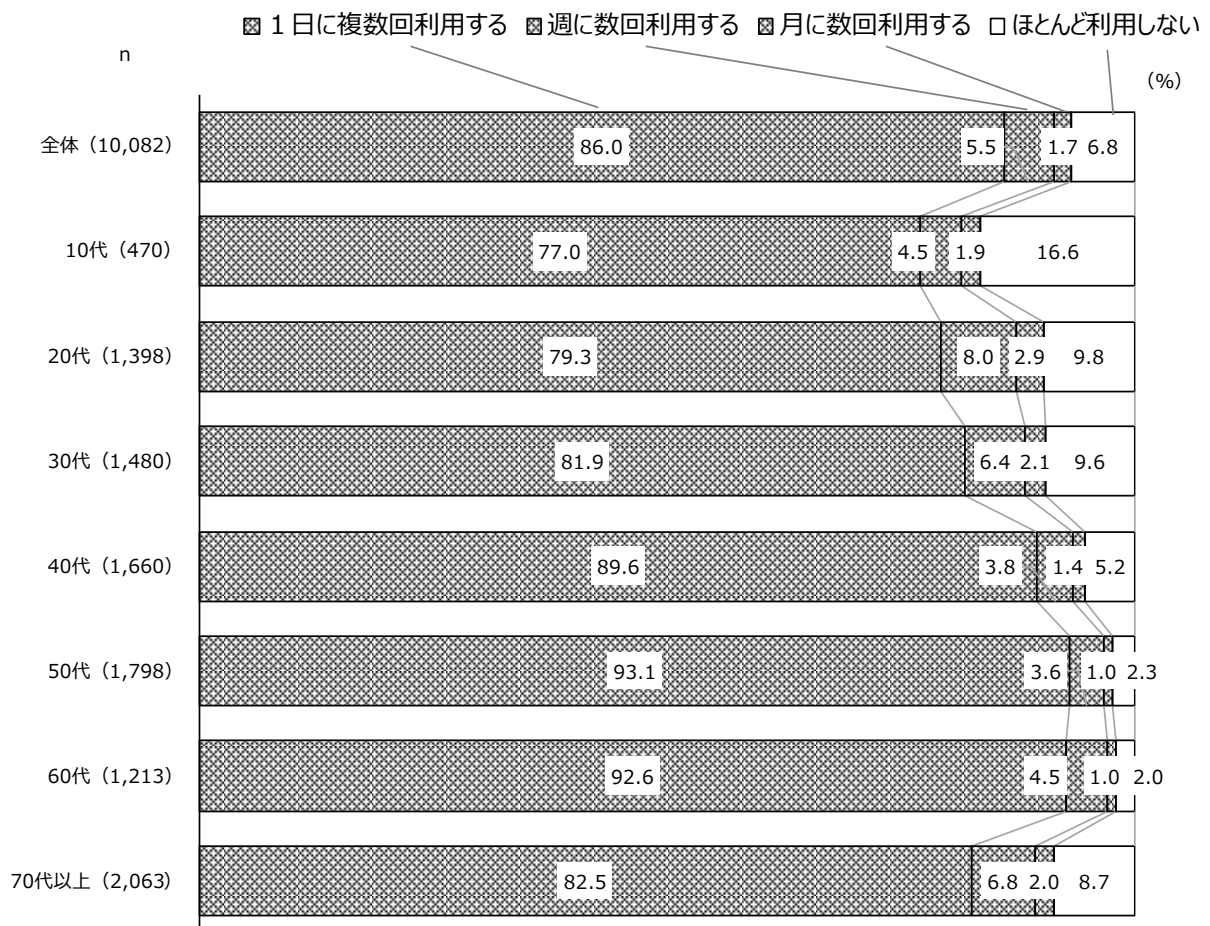


図 1-2-2 インターネット利用頻度 - 男女別



年齢別にみると、「1日に複数回利用する」は50代で93.1%と最も高くなっている。

図 1-2-3 インターネット利用頻度 - 年齢別

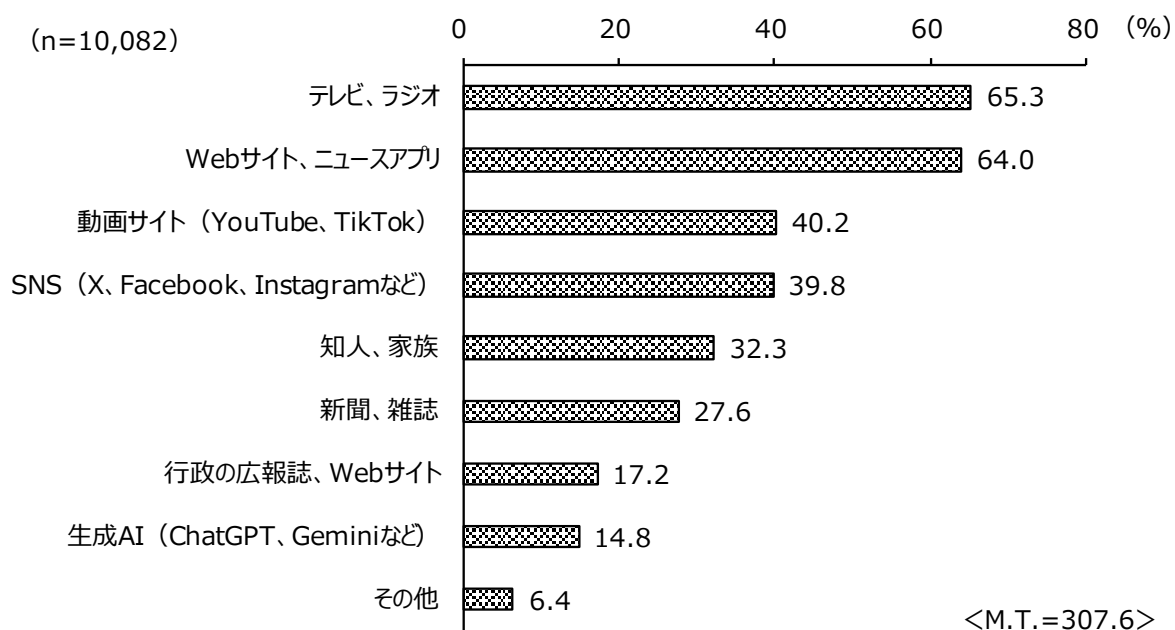


(全員の方に)

問7 あなたは日常の情報収集に、主にどのツールやサービスを利用しますか？(MA)

日常の情報収集に利用しているツールやサービスについて聞いたところ、「テレビ、ラジオ」が65.3%と最も多く、次いで「Webサイト、ニュースアプリ」64.0%、「動画サイト」40.2%、「SNS」39.8%などの順となっている。

図 1-3 情報収集ツール・サービス



年齢別にみると、「テレビ、ラジオ」は70代以上で89.5%、60代で81.5%となっている。
「SNS」は20代で64.6%となっている。

表 1-2 情報収集ツール・サービス - 男女別、年齢別

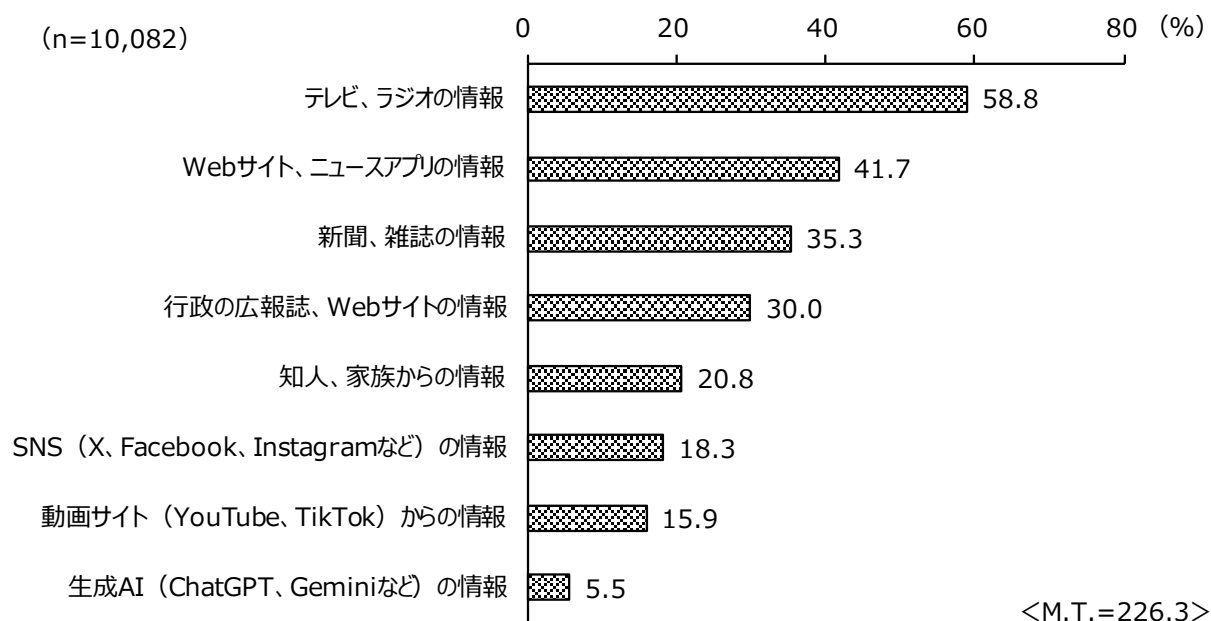
	n	テレビ、 ラジオ	新聞、 雑誌	Webサイト、 ニュースアプリ	SNS (X、Facebook、 Instagram など)	動画サイト (YouTube、TikTok)	生成AI (ChatGPT、Gemini など)	知人、 家族	行政の広報誌、 Webサイト	その他
全体	10,082	65.3	27.6	64.0	39.8	40.2	14.8	32.3	17.2	6.4
<男女別>										
男性	5,038	65.2	30.8	68.1	37.0	43.1	16.4	26.7	16.2	5.7
女性	4,927	66.1	24.8	60.5	43.0	37.8	13.3	38.4	18.5	6.2
<年齢別>										
10代	470	42.1	6.2	43.4	58.3	51.9	23.8	24.9	6.6	13.0
20代	1,398	41.6	10.4	50.4	64.6	52.6	22.5	26.3	8.2	10.9
30代	1,480	47.2	12.0	56.5	55.9	46.4	19.0	24.7	8.1	11.1
40代	1,660	61.6	19.6	70.6	46.0	45.9	18.1	30.4	12.5	6.5
50代	1,798	69.2	25.6	74.6	35.0	37.5	13.0	31.4	14.1	3.7
60代	1,213	81.5	36.4	72.8	24.2	32.6	9.6	32.0	18.2	3.0
70代以上	2,063	89.5	58.5	63.6	15.5	27.2	6.5	46.0	38.1	2.6

(全員の方に)

問8 あなたは以下の媒体から得られる情報に関する信頼度についてどう考えていますか？信頼度の高いものを3つまでお選びください。(3MA)

得られる情報に関する信頼度について聞いたところ、「テレビ、ラジオの情報」は58.8%、「Webサイト、ニュースアプリの情報」は41.7%、「新聞、雑誌の情報」は35.3%となっている。

図 1-4 信頼度の高い媒体



年齢別にみると、「テレビ、ラジオの情報」は70代以上で81.3%、20代は38.6%となっている。

表 1-3 信頼度の高い媒体 - 男女別、年齢別

	n	テレビ、 ラジオの情報	新聞、 雑誌の情報	Webサイト、 ニュースアプリの情報	SNS (X、Facebook、 Instagram など) の情報	動画サイト (YouTube、 TikTok) からの情報	生成 AI (ChatGPT、 Gemini など) の情報	知人、 家族からの情報	行政の広報誌、 Web サイトの情報
全体	10,082	58.8	35.3	41.7	18.3	15.9	5.5	20.8	30.0
<男女別>									
男性	5,038	58.4	37.8	45.7	17.7	18.5	6.1	16.9	28.2
女性	4,927	59.8	33.3	38.1	18.9	13.4	4.9	24.9	31.5
<年齢別>									
10代	470	45.5	23.4	34.3	28.5	23.4	8.5	17.4	26.0
20代	1,398	38.6	19.9	37.2	35.6	25.1	9.9	18.8	25.0
30代	1,480	40.7	18.8	42.2	29.5	22.0	7.0	16.8	26.4
40代	1,660	53.0	24.8	46.6	20.8	19.0	6.0	20.6	25.4
50代	1,798	62.0	33.7	48.8	14.7	13.1	4.4	19.7	26.0
60代	1,213	74.4	44.4	46.1	7.2	10.1	3.9	21.7	29.9
70代以上	2,063	81.3	64.7	33.5	3.9	7.1	2.4	26.3	43.9

(全員の方に)

問9 あなたは「AI (人工知能)」という言葉聞いたことがありますか？ (SA)

「AI (人工知能)」という言葉の認知度は、「聞いたことがあり、どのようなものか理解している」は60.3%、「聞いたことはあるが、どのようなものか理解していない」は30.4%、「聞いたことがない」は9.3%となっている。

図 1-5-1 AI の認知度・理解度

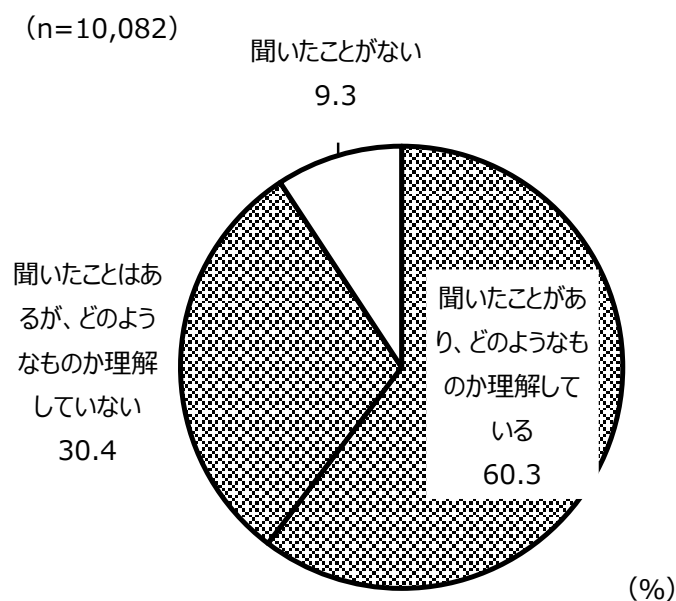
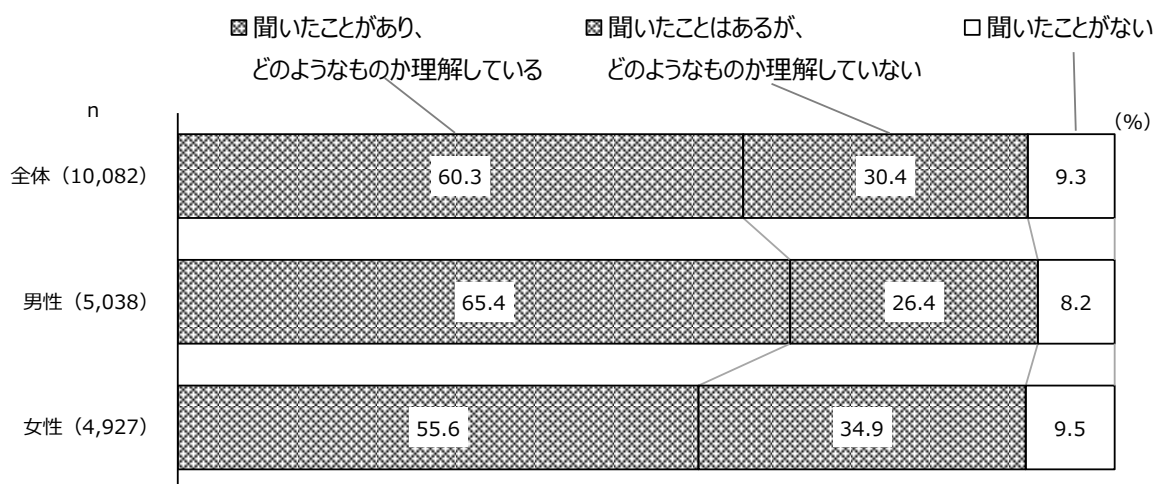
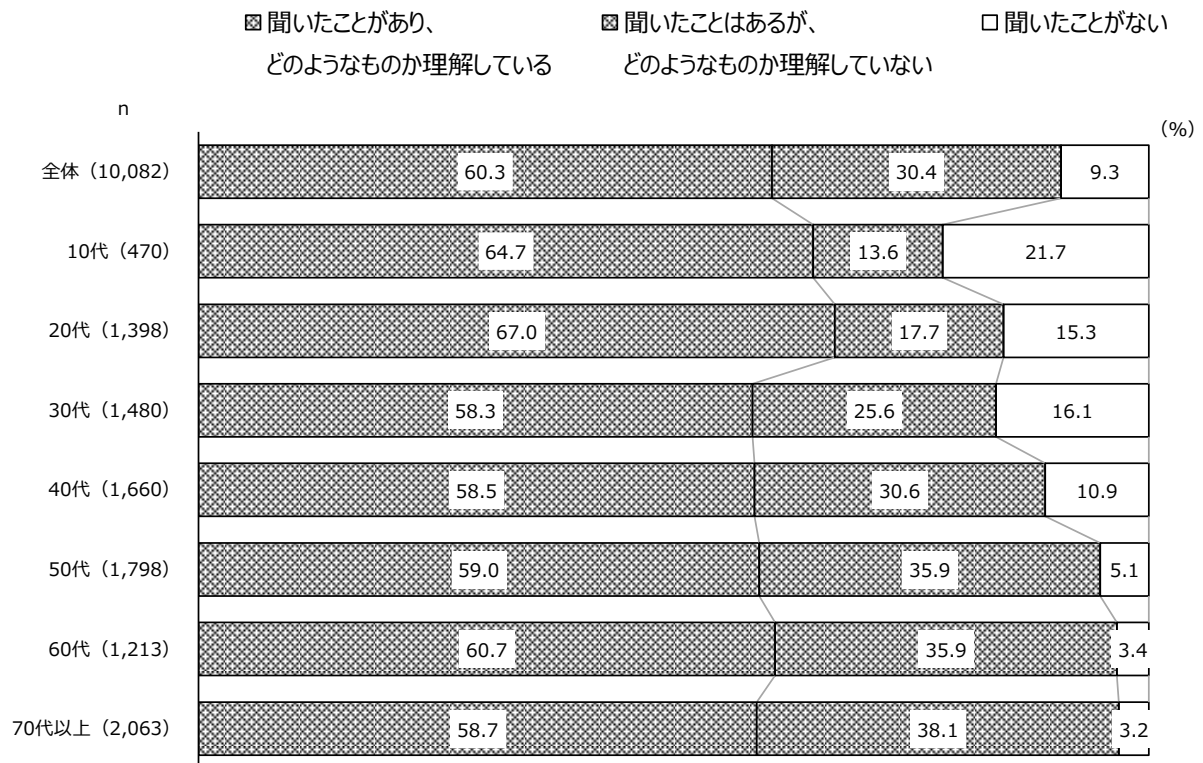


図 1-5-2 AI の認知度・理解度 - 男女別



年齢別にみると、「聞いたことがあり、どのようなものか理解している」は20代で67.0%と最も高く、次いで10代で64.7%となっている。

図 1-5-3 AI の認知度・理解度 - 年齢別



(全員の方に)

問 10 あなたはプライベートで「AI」を利用したことがありますか？ (SA)

プライベートで AI を利用したことがあるか聞いたところ、「1 日に複数回利用する」は 11.3%、「週に数回利用する」は 15.7%となっている。一方、「利用したことがなく、今後も利用する予定はない」は 30.6%となっている。

図 1-6-1 プライベートでの AI 利用経験

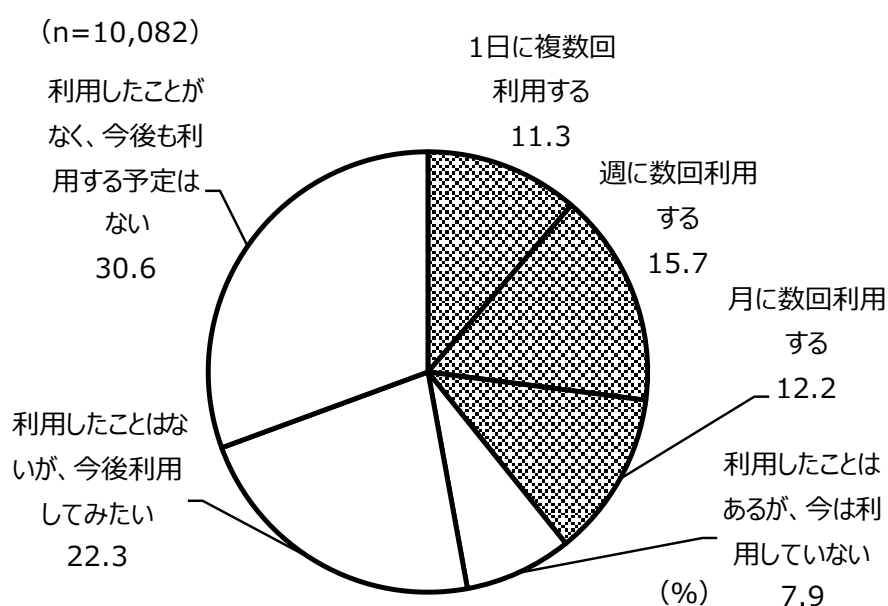
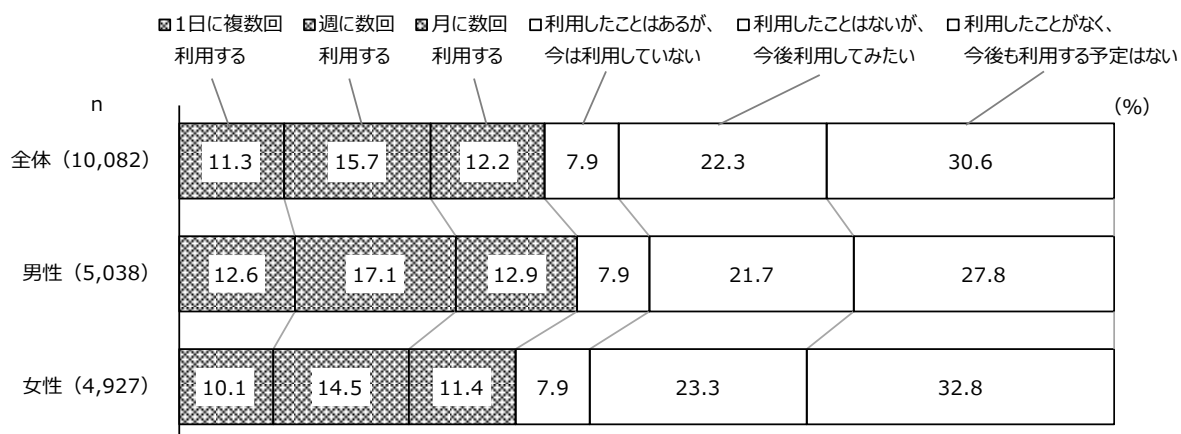
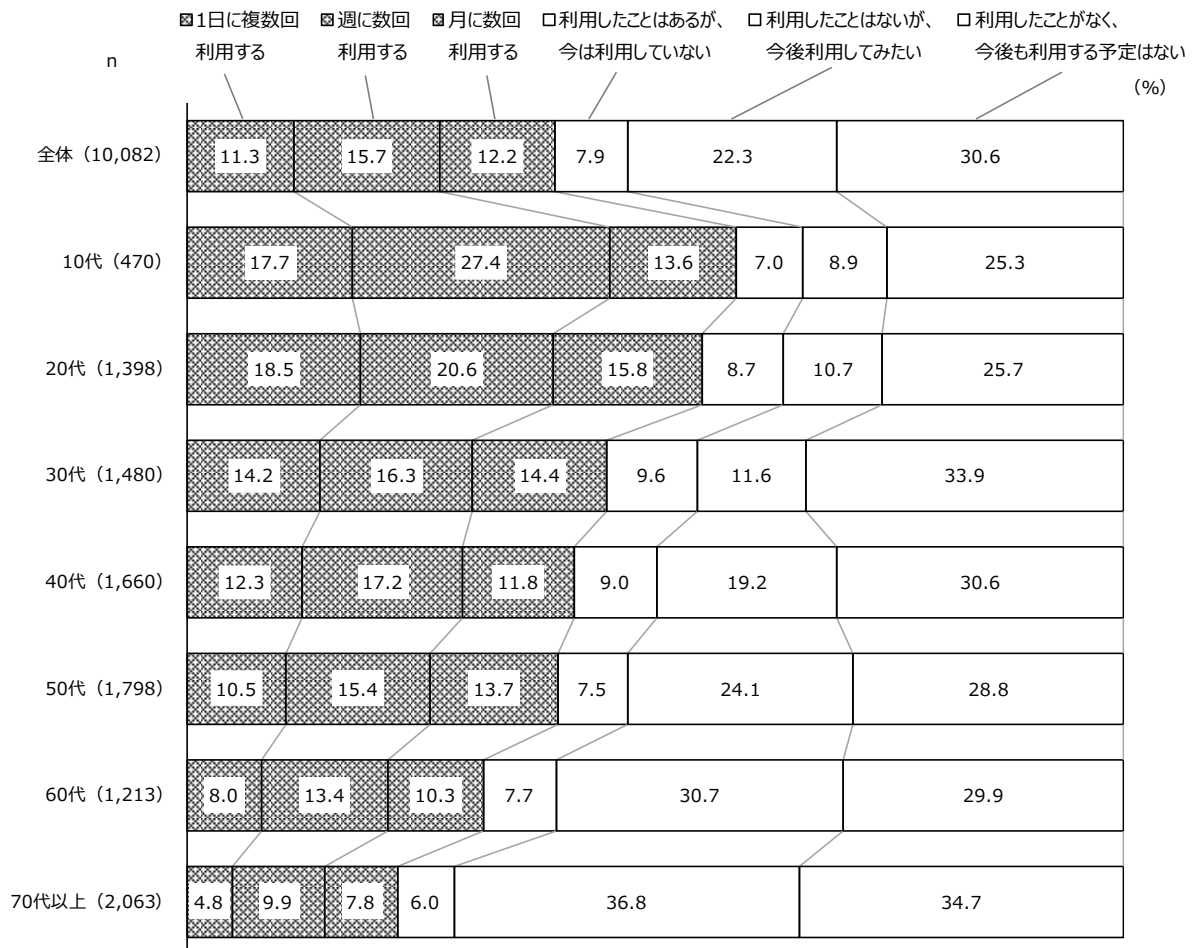


図 1-6-2 プライベートでの AI 利用経験 - 男女別



年齢別にみると、「1日に複数回利用する」は20代で18.5%と最も高く、次いで10代で17.7%となっている。一方、「利用したことがなく、今後も利用する予定はない」は70代以上で34.7%と最も高く、次いで30代で33.9%となっている。

図 1-6-3 プライベートでの AI 利用経験 - 年齢別



(全員の方に)

問 11 あなたは仕事や学業で「AI」を利用したことがありますか？ (SA)

仕事や学業での AI 利用経験について聞いたところ、「1 日に複数回利用する」は 9.4%、「週に複数回利用する」は 10.8%となっている。一方「利用したことがなく、今後も利用する予定はない」は 43.3%となっている。

図 1-7-1 仕事・学業での AI 利用経験

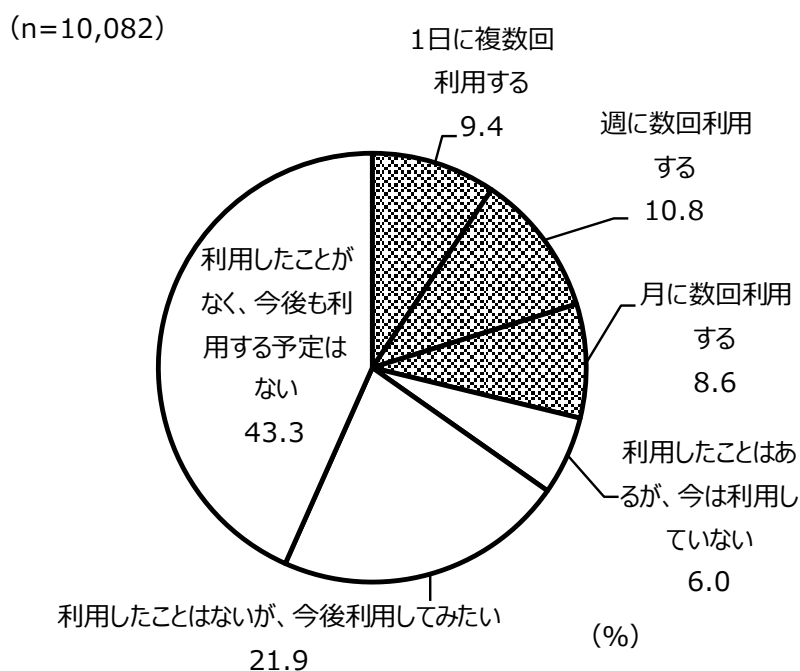
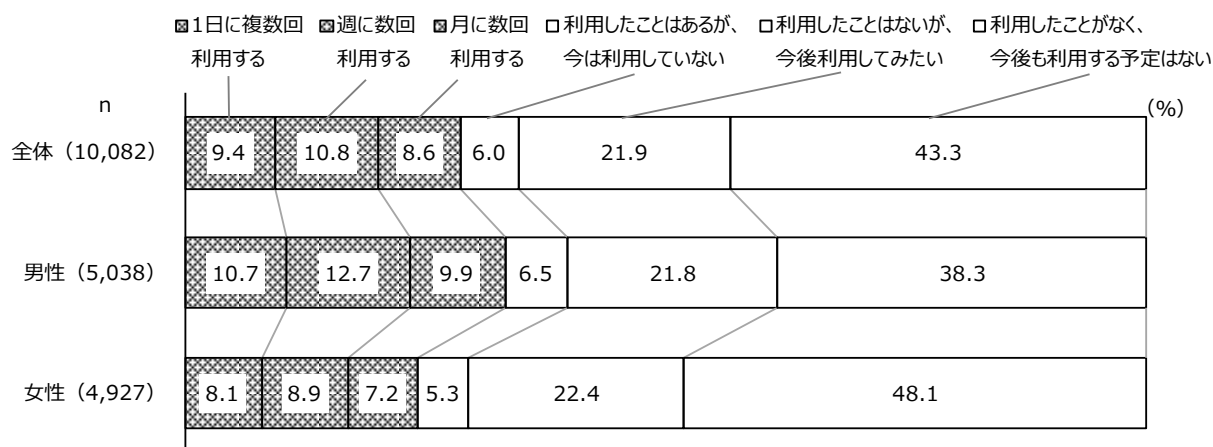
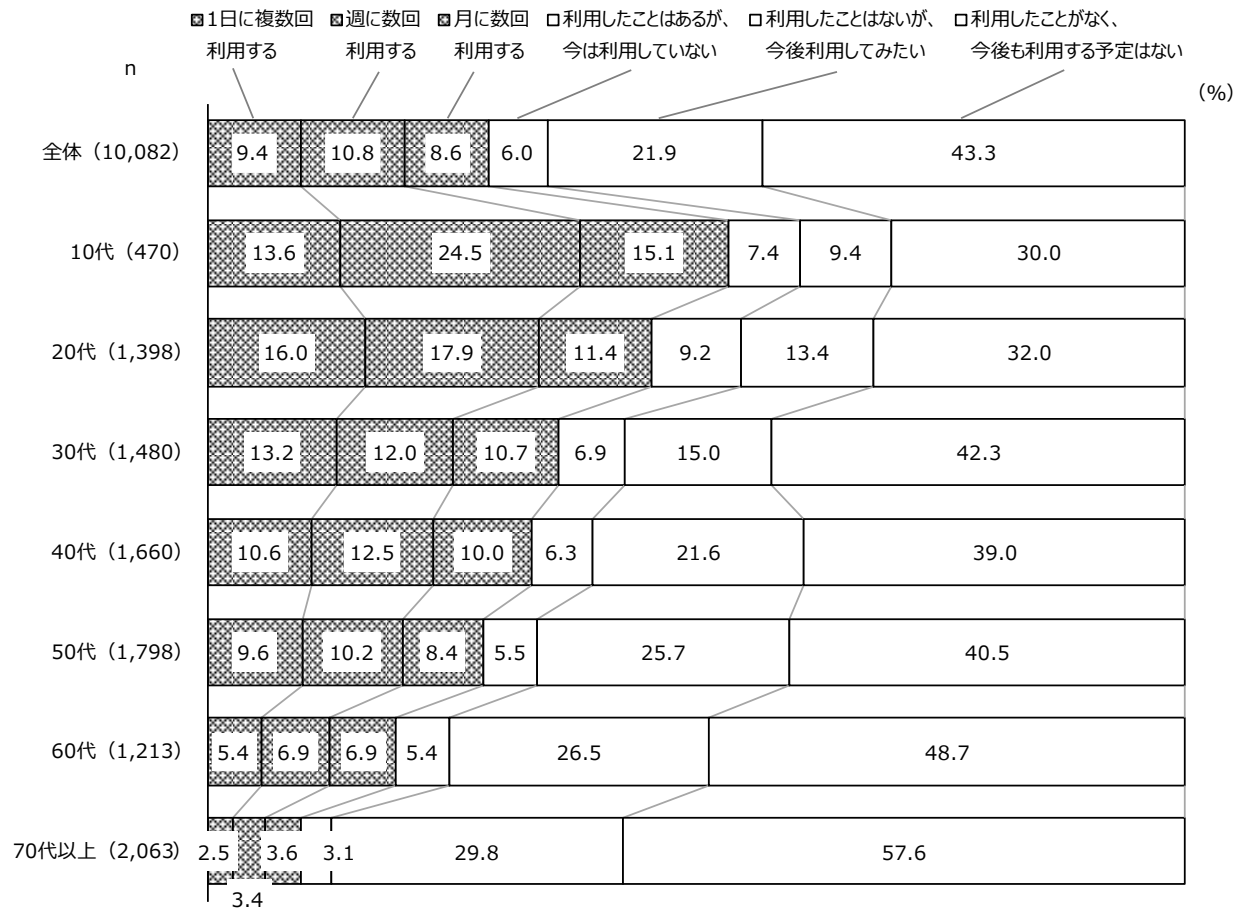


図 1-7-2 仕事・学業での AI 利用経験 - 男女別



年齢別にみると、「1日に複数回利用する」は20代で16.0%と最も高く、次いで10代で13.6%となっている。「利用したことがなく、今後も利用する予定はない」は70代以上で57.6%と最も高く、次いで30代が42.3%となっている。

図 1-7-3 仕事・学業での AI 利用経験 - 年齢別

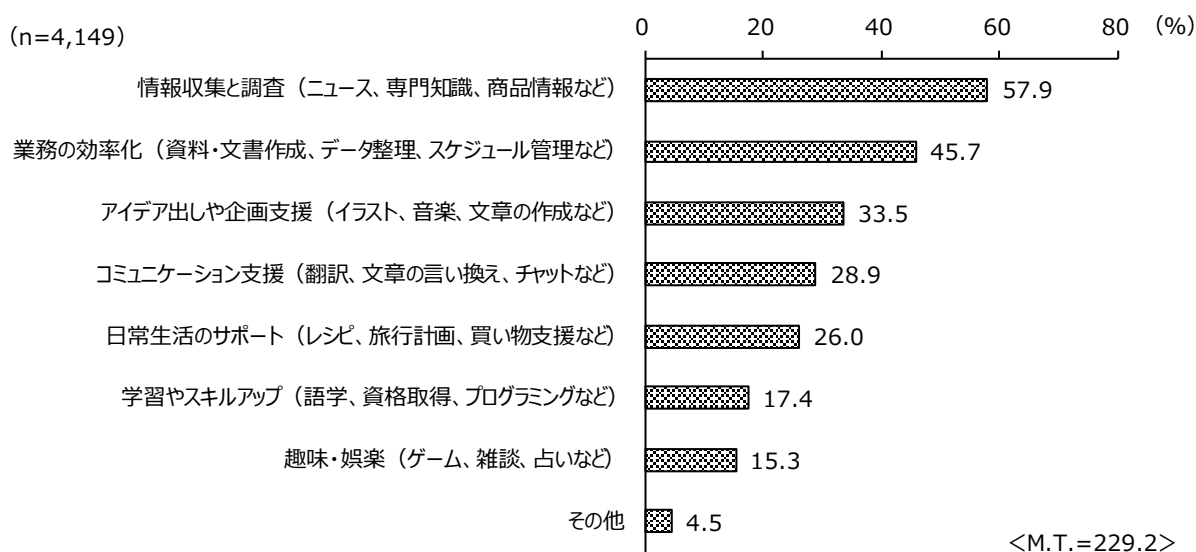


(問 10 または問 11 のどちらかの設問において「1 日に複数回利用する」「週に数回利用する」「月に数回利用する」と回答した方に)

問 12 あなたが「AI」を使う主な目的・理由は何ですか？ (MA)

AI を使う主な目的・理由を聞いたところ、「情報収集と調査」は 57.9%と最も高く、次いで「業務の効率化」は 45.7%、「アイデア出しや企画支援」は 33.5%となっている。

図 1-8 AI の利用目的・理由



年齢別にみると、「情報収集と調査」は60代で69.6%と最も高く、次いで70代以上で69.3%となっている。「業務の効率化」は30代で54.7%と最も高く、次いで40代で51.6%となっている。

表 1-4 AIの利用目的・理由 - 男女別、年齢別

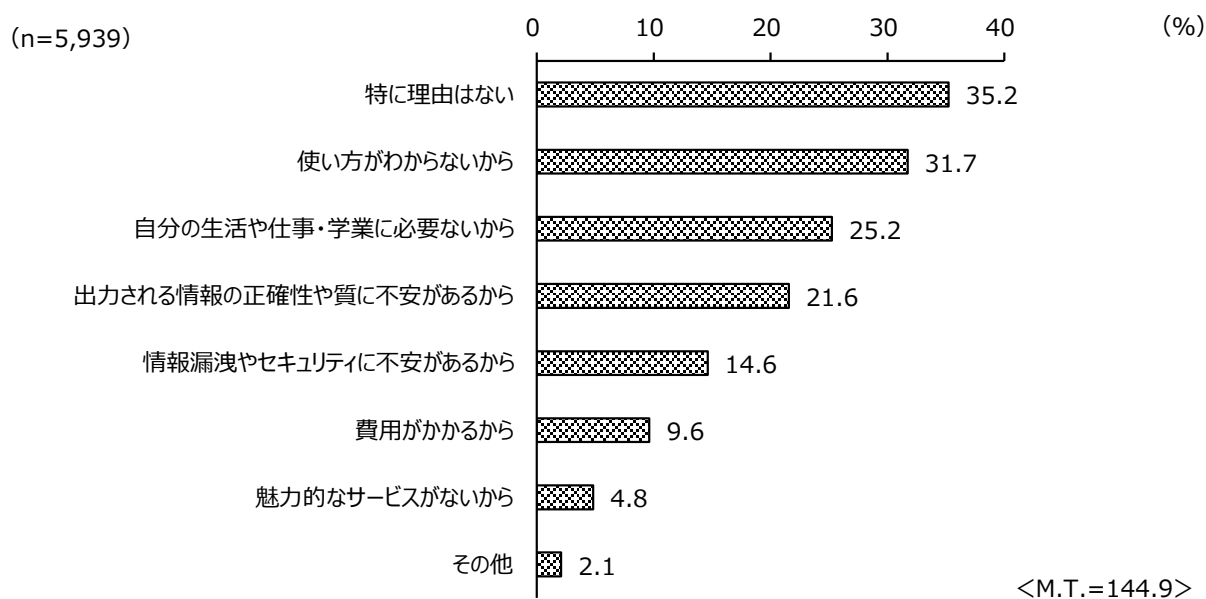
	n	業務の効率化（資料・文書作成、データ整理、スケジュール管理など）	情報収集と調査（ニュース、専門知識、商品情報など）	アイデア出しや企画支援（イラスト、音楽、文章の作成など）	コミュニケーション支援（翻訳、文章の言い換え、チャットなど）	日常生活のサポート（レシピ、旅行計画、買い物支援など）	学習やスキルアップ（語学、資格取得、プログラミングなど）	趣味・娯楽（ゲーム、雑談、占いなど）	その他
全体	4,149	45.7	57.9	33.5	28.9	26.0	17.4	15.3	4.5
<男女別>									
男性	2,245	50.6	62.3	35.2	25.9	21.9	18.7	14.7	3.6
女性	1,868	40.0	52.8	31.5	32.6	31.3	16.0	16.1	5.5
<年齢別>									
10代	290	42.1	38.6	41.4	29.0	16.6	34.5	21.7	5.5
20代	803	51.4	47.8	40.8	31.8	22.9	21.3	14.8	4.0
30代	695	54.7	56.5	40.6	32.7	26.6	17.0	16.4	3.7
40代	735	51.6	58.4	36.2	30.7	26.8	16.3	11.6	4.4
50代	752	47.1	63.4	28.7	25.0	22.2	12.6	11.7	4.8
60代	401	39.4	69.6	23.7	24.9	24.4	10.5	13.0	4.0
70代以上	473	19.5	69.3	17.8	25.2	42.3	15.9	23.7	6.3

(問 10 および問 11 の両設問において「利用したことはあるが、今は利用していない」「利用したことはないが、今後利用してみたい」「利用したことがなく、今後も利用する予定はない」と回答した方に)

問 13 あなたが「AI」を利用しない理由は何ですか？ (MA)

AI を利用しない理由を聞いたところ、「特に理由はない」が 35.2%、「使い方がわからないから」が 31.7%、「自分の生活や仕事・学業に必要ないから」が 25.2%となっている。

図 1-9 AI を利用しない理由



年齢別にみると、「使い方がわからないから」は70代以上で46.7%、60代で34.6%となっている。「自分の生活や仕事・学業に必要なから」は70代以上で39.6%となっている。

表 1-5 AI を利用しない理由 - 男女別、年齢別

	n	使い方がわからないから	自分の生活や仕事・学業に必要なから	魅力的なサービスがないから	費用がかかるから	情報漏洩やセキュリティに不安があるから	出力される情報の正確性や質に不安があるから	その他	特に理由はない
全体	5,939	31.7	25.2	4.8	9.6	14.6	21.6	2.1	35.2
<男女別>									
男性	2,797	28.7	24.2	5.5	10.9	13.2	21.7	2.5	36.8
女性	3,061	35.0	26.7	4.2	8.6	16.0	21.6	1.6	32.8
<年齢別>									
10代	180	11.7	9.4	5.0	4.4	5.6	7.8	2.2	62.8
20代	595	16.0	14.5	5.9	7.9	12.4	15.3	2.9	50.6
30代	785	21.5	14.4	5.6	7.9	10.4	14.4	2.0	51.5
40代	925	26.6	17.8	6.1	8.4	12.6	18.9	1.4	39.7
50代	1,046	31.3	22.5	5.2	9.9	11.5	20.6	1.9	35.4
60代	812	34.6	30.9	3.3	11.1	16.1	24.8	1.5	29.8
70代以上	1,596	46.7	39.6	3.8	11.5	20.9	29.5	2.6	18.5

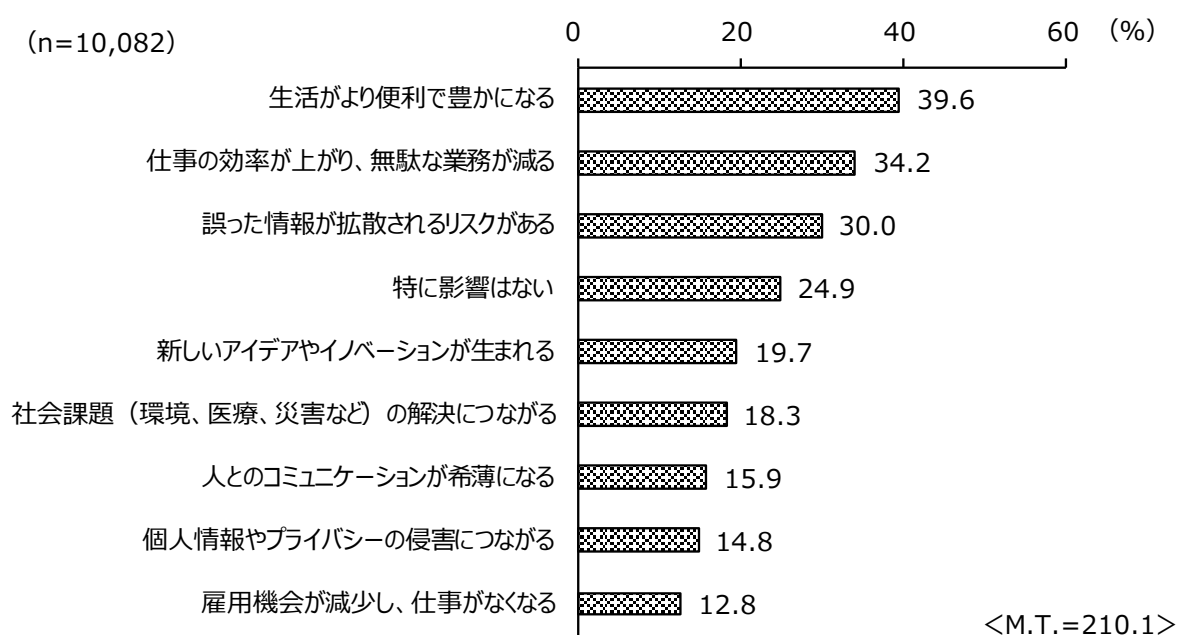
2 AI に対するイメージと価値観

(全員の方に)

問 14 「AI」はあなたの生活や社会にどのような影響を与えますか？(MA)

AI が生活や社会に与える影響について聞いたところ、「生活がより便利で豊かになる」は 39.6%、「仕事の効率が上がり、無駄な業務が減る」は 34.2%、「誤った情報が拡散されるリスクがある」は 30.0%となっている。

図 2-1 AI の生活・社会への影響



年齢別にみると、「生活がより便利で豊かになる」は10代で45.7%と最も高い。一方、「誤った情報が拡散されるリスクがある」は70代以上で48.4%と最も高くなっている。

表 2-1 AI の生活・社会への影響 - 男女別、年齢別

	n	生活がより便利で豊かになる	社会課題（環境、医療、災害など）の解決につながる	仕事の効率が上がり、無駄な業務が減る	新しいアイデアやイノベーションが生まれる	人とのコミュニケーションが希薄になる	個人情報やプライバシーの侵害につながる	雇用機会が減少し、仕事がなくなる	誤った情報が拡散されるリスクがある	特に影響はない
全体	10,082	39.6	18.3	34.2	19.7	15.9	14.8	12.8	30.0	24.9
<男女別>										
男性	5,038	40.0	20.3	38.2	20.6	14.5	14.1	12.0	29.6	24.3
女性	4,927	39.6	16.6	30.6	19.0	17.7	15.6	13.6	30.5	24.9
<年齢別>										
10代	470	45.7	14.3	31.5	17.9	13.4	10.6	11.5	22.6	28.9
20代	1,398	43.9	17.7	35.1	21.5	11.9	13.3	10.2	21.5	25.9
30代	1,480	41.0	16.2	34.0	19.5	12.1	12.4	10.3	19.7	31.0
40代	1,660	38.8	15.0	35.8	18.7	11.9	13.4	12.5	23.9	27.0
50代	1,798	35.8	14.3	34.9	16.4	13.5	12.5	14.1	29.3	25.3
60代	1,213	38.7	16.9	33.3	17.9	16.3	14.6	14.7	33.1	25.1
70代以上	2,063	38.7	28.0	32.9	23.7	27.1	21.9	14.5	48.4	16.8

(全員の方に)

問 15 「AI」と人間を比較した場合、「AI」はどのような存在だと思いますか？ (SA)

人間と比較した際の AI の存在について聞いたところ、「人間の仕事をサポートする道具」が 49.9%、「特に何も思わない」が 27.6%となっている。

図 2-2-1 AI に対するイメージ

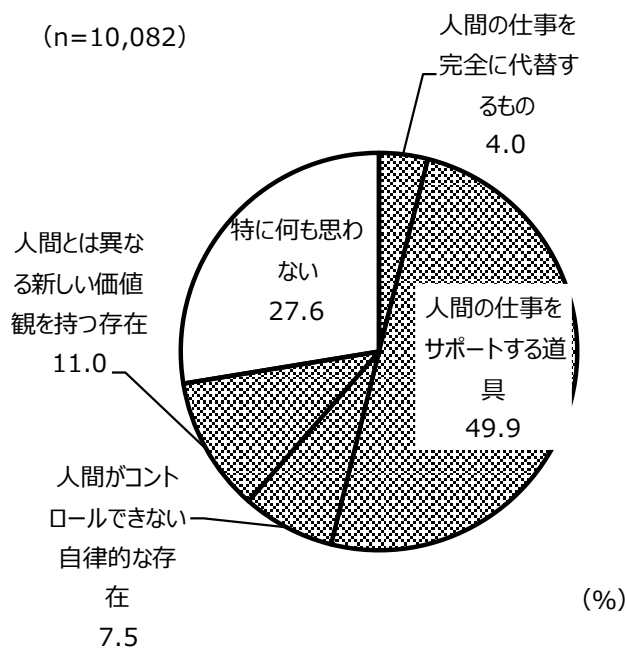
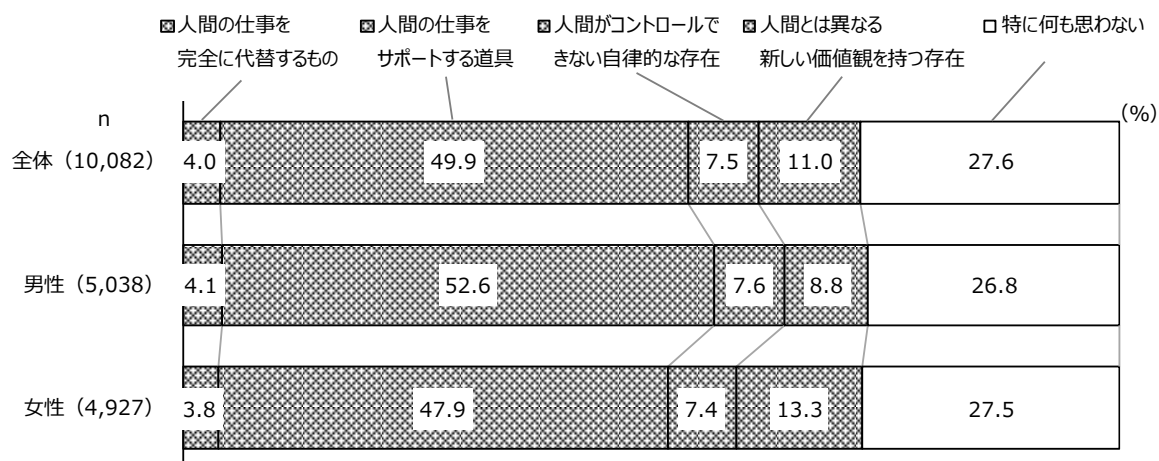
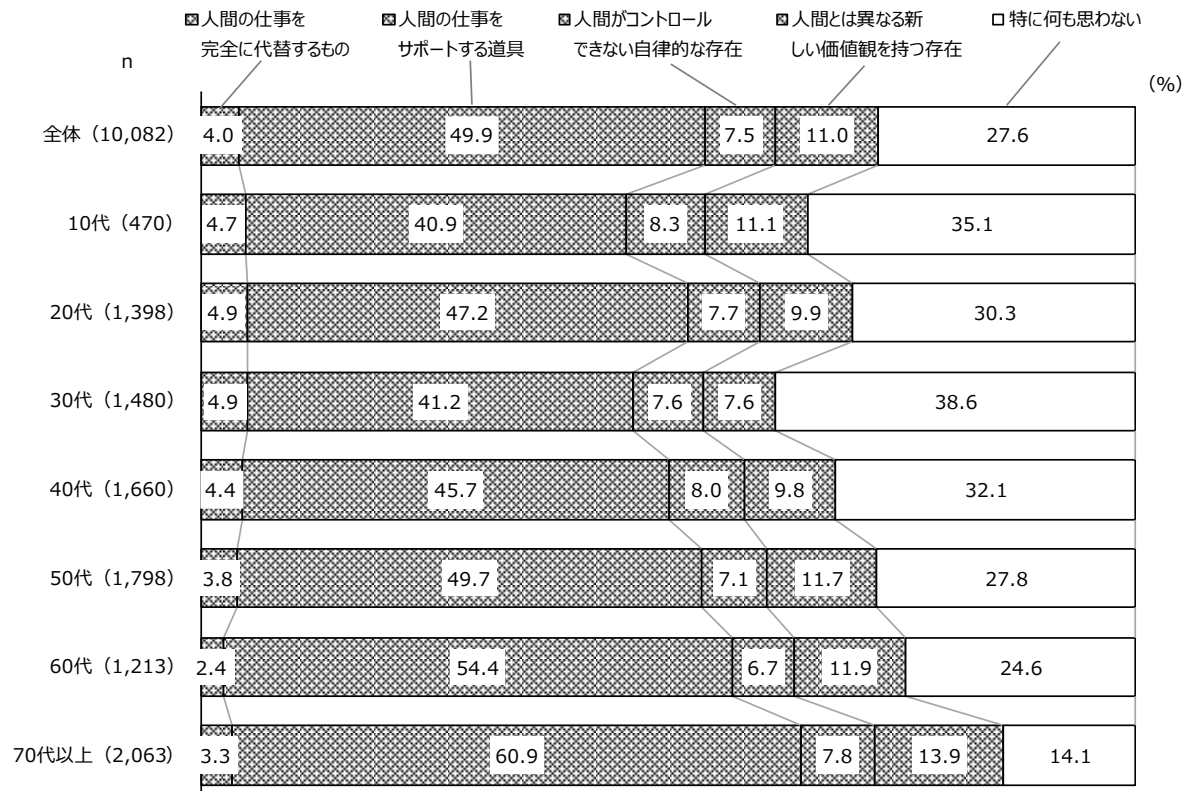


図 2-2-2 AI に対するイメージ - 男女別



年齢別にみると、「人間の仕事をサポートする道具」は70代以上で60.9%と最も高くなっている。一方で「特に何も思わない」は30代で38.6%と最も高くなっている。

図 2-2-3 AI に対するイメージ - 年齢別



(全員の方に)

問 16 あなたは、どのような「AI」サービスに最も期待しますか？ (SA)

最も期待する AI サービスについて聞いたところ、「仕事や学業の効率を上げてくれる AI」は 18.7%、「行政手続きを自動で完了してくれる AI」は 13.0%、「病気の診断や治療計画を提案してくれる AI」は 12.7%となっている。一方で「特に期待するものはない」は 33.4%となっている。

図 2-3-1 期待する AI サービス

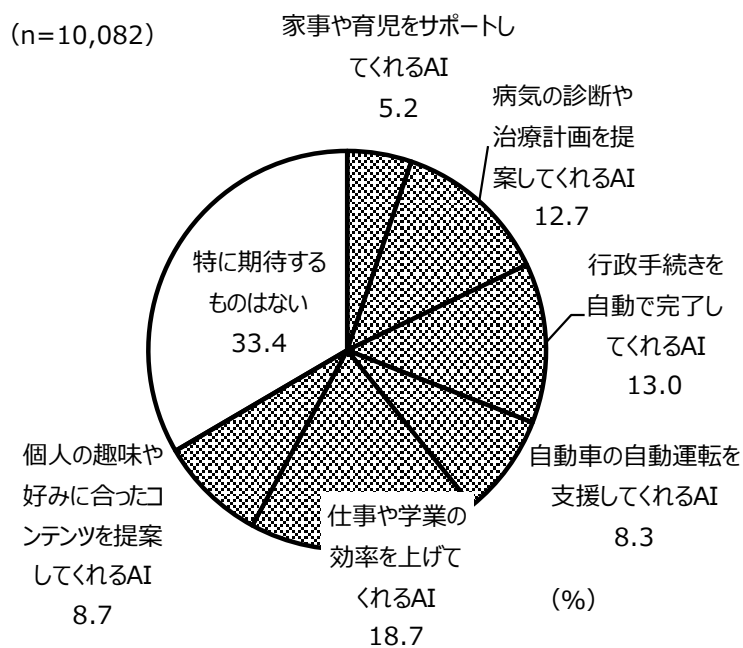
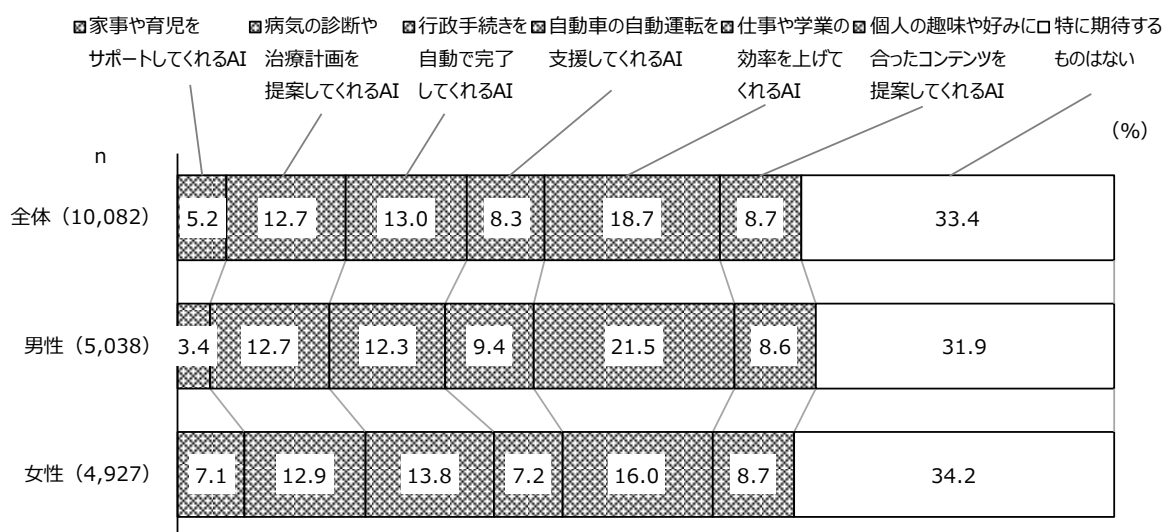
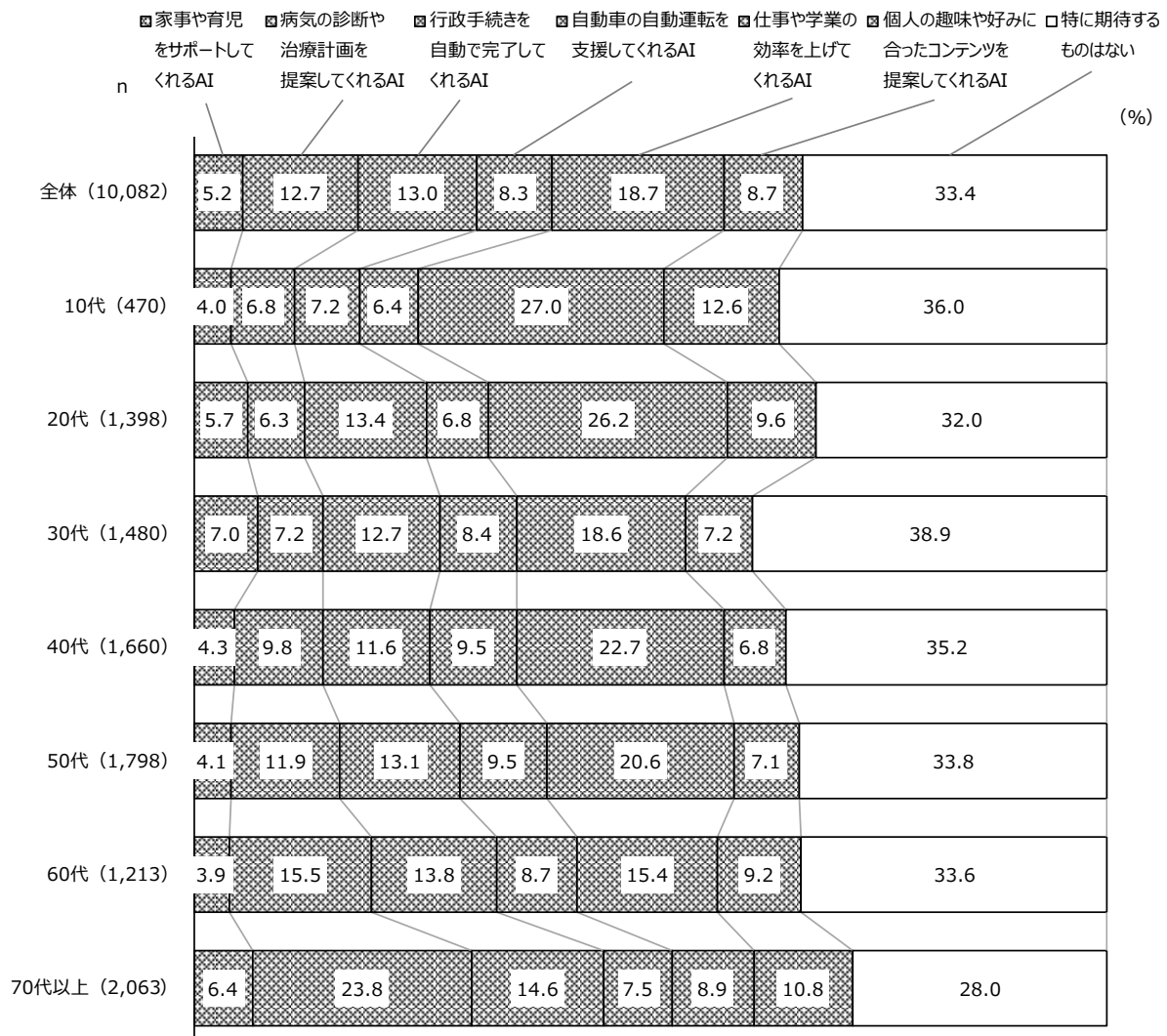


図 2-3-2 期待する AI サービス - 男女別



年齢別にみると、「仕事や学業の効率を上げてくれる AI」は 10 代で 27.0%、20 代で 26.2%となっている。「病気の診断や治療計画を提案してくれる AI」は 70 代以上で 23.8%となっている。

図 2-3-3 期待する AI サービス—年齢別



(全員の方に)

問 17 あなたは、自分の個人情報(氏名、住所、連絡先など)や行動履歴が「AI」の学習に利用されることをどのように感じますか？(SA)

個人情報や行動履歴が AI の学習に利用されることについて聞いたところ、「抵抗を感じる」は 31.3%、「どちらかといえば抵抗を感じる」は 35.1%となっている。一方、「どちらかといえば抵抗を感じない」は 16.0%、「抵抗は全くない」は 17.6%となっている。

図 2-4-1 AI による個人情報の利用

(n=10,082)

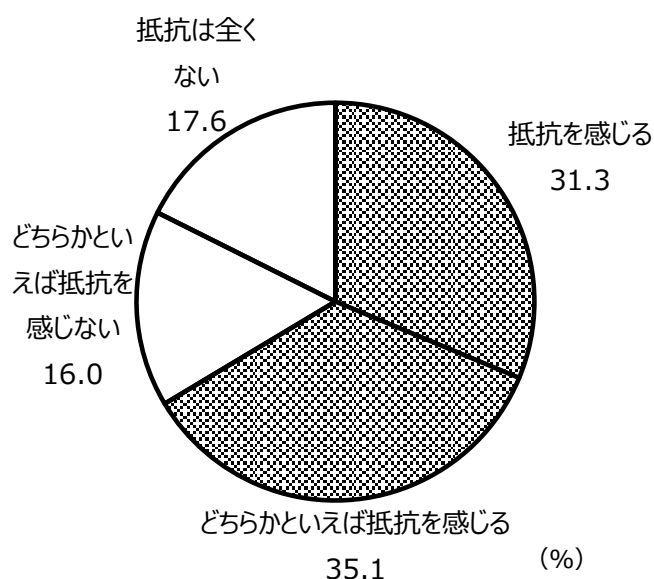
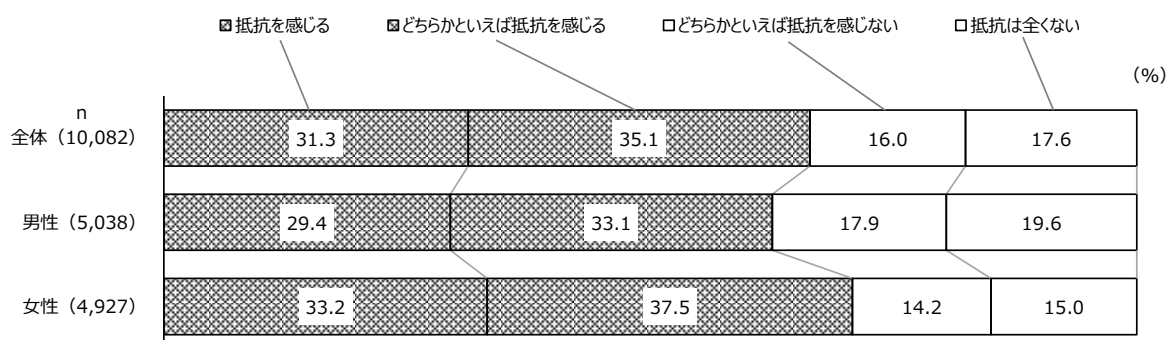
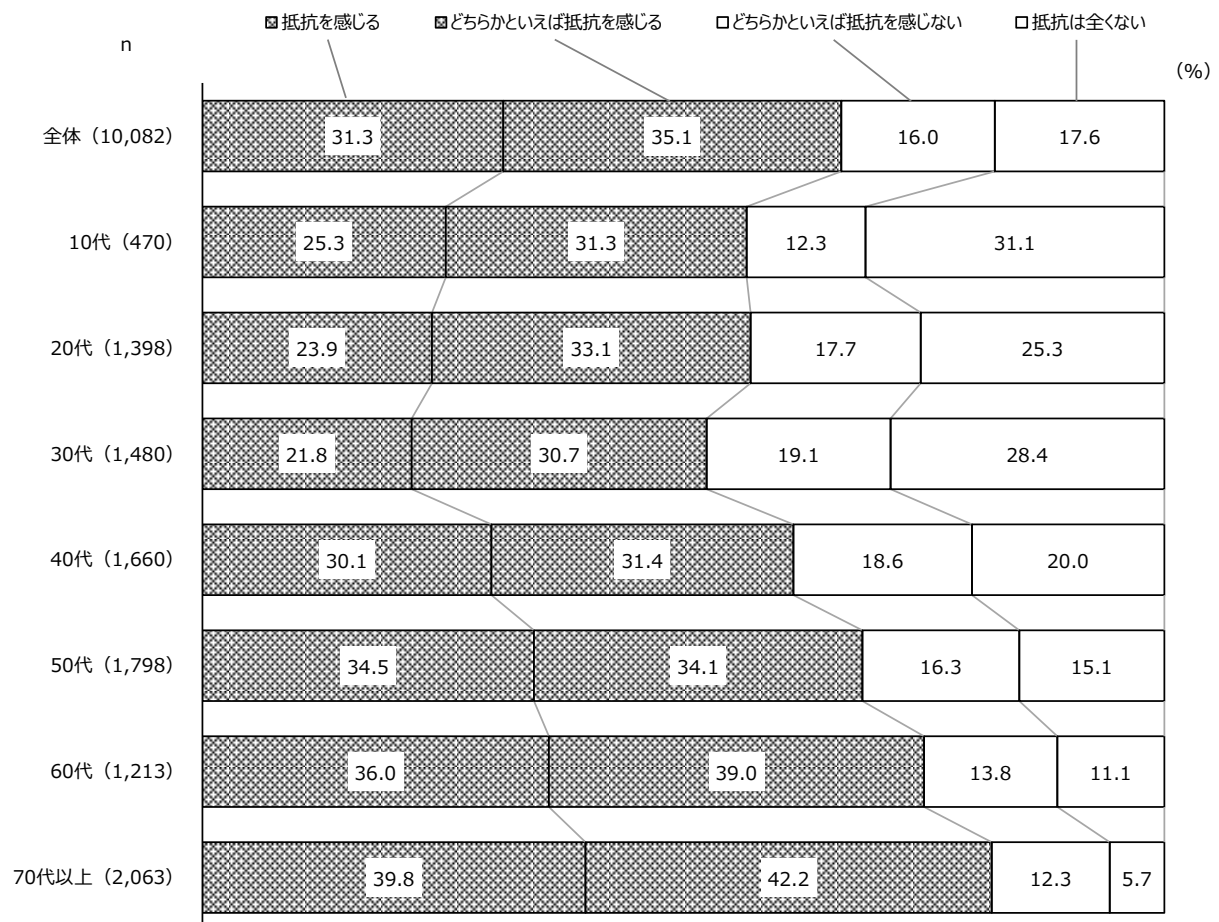


図 2-4-2 AI による個人情報の利用 - 男女別



年齢別にみると、「抵抗を感じる」は70代以上で39.8%、60代で36.0%となっている。一方、「抵抗は全くない」は10代で31.1%、30代で28.4%となっている。

図 2-4-3 AI による個人情報の利用 - 年齢別



(全員の方に)

問 18 あなたは「AI」が生成した情報（画像、動画、音楽、文章など）に、「AI」が作成したものであることを示す表記は必要だと思いますか？（SA）

AI が作成したものであることを示す表記が必要か聞いたところ、「必ず必要だと思う」は 42.5%、「どちらかといえば必要だと思う」は 30.1%となっている。一方、「どちらかといえば必要ないと思う」は 11.6%、「必要ないと思う」は 15.8%となっている。

図 2-5-1 AI が生成した情報に対する表記の要否

(n=10,082)

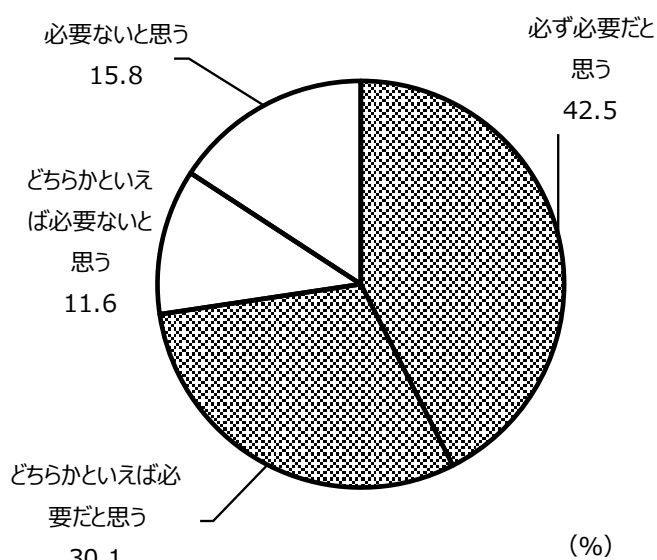
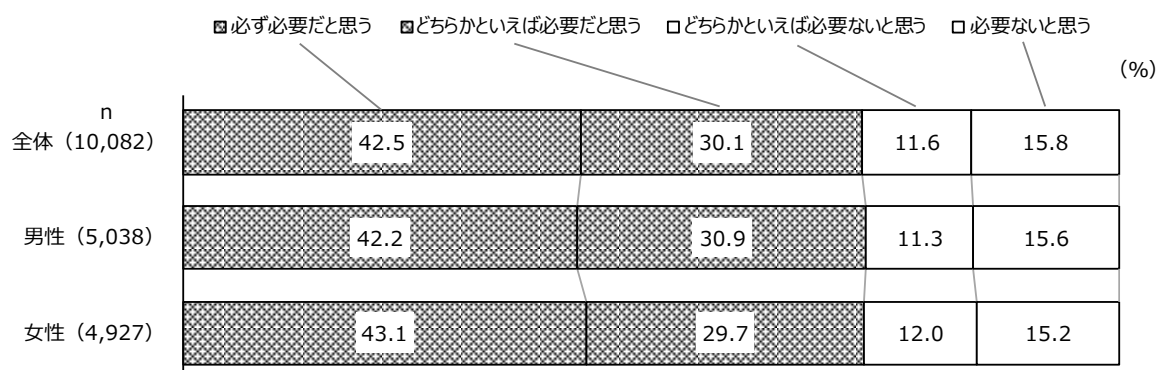
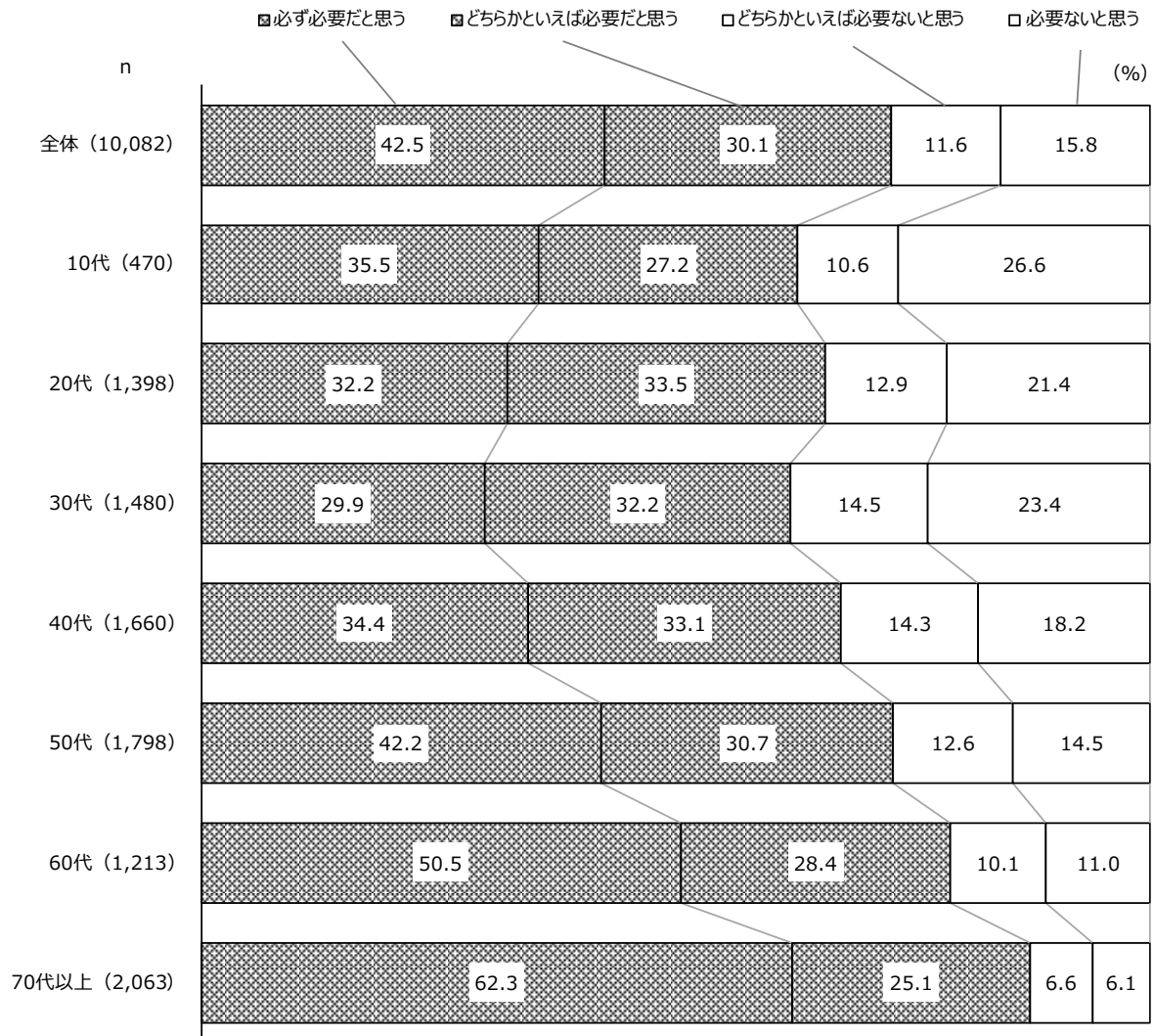


図 2-5-2 AI が生成した情報に対する表記の要否 - 男女別



年齢別にみると、「必ず必要だと思う」は70代以上で62.3%と最も高くなっている。一方、「必要ないと思う」は10代で26.6%と最も高くなっている。

図 2-5-3 AI が生成した情報に対する表記の要否 - 年齢別



(全員の方に)

問 19 あなたが「AI」を活用したサービスを利用する際に、最も重視する点は何ですか？

(SA)

AI を活用したサービスを利用する際に最も重視する点を聞いたところ、「個人情報の安全性」は 20.4%、「AI の出力の正確性」は 19.3%となっている。

図 2-6-1 AI サービスで最も重視する点

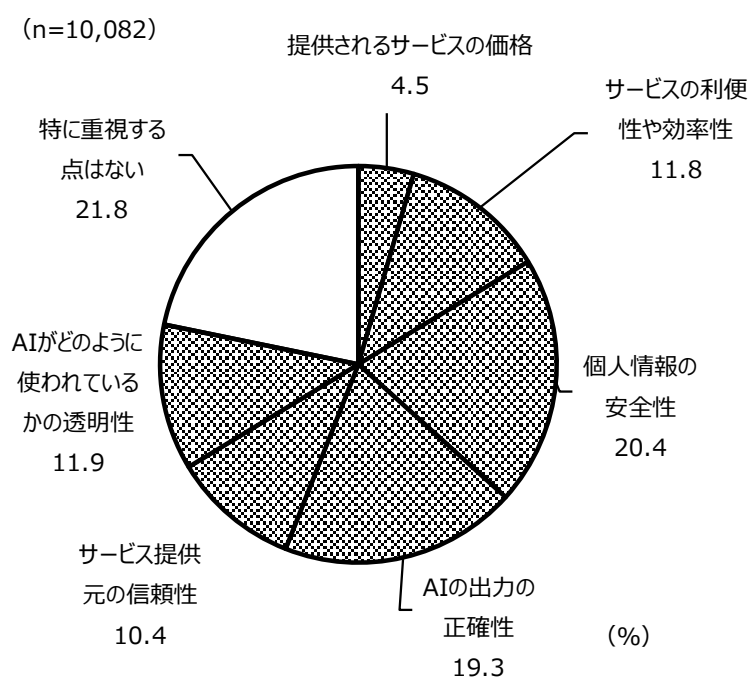
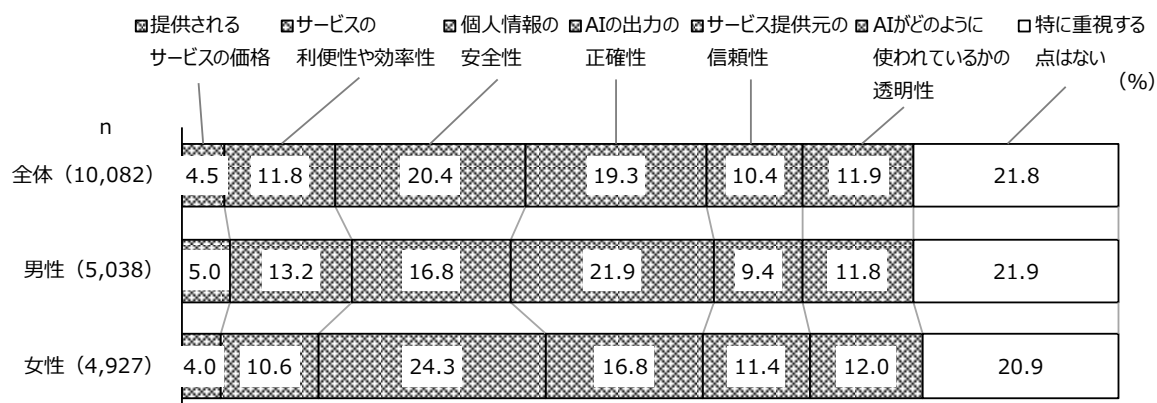
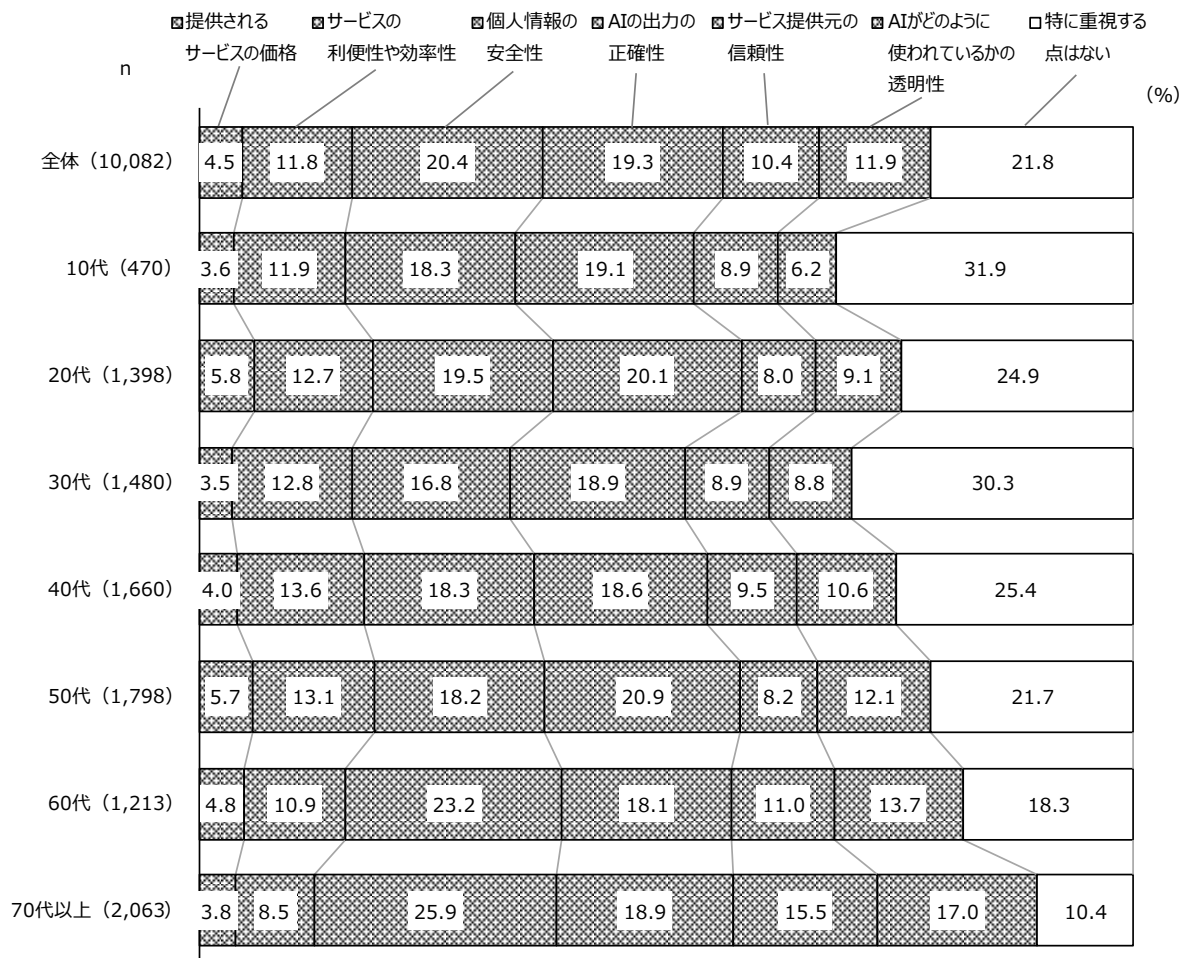


図 2-6-2 AI サービスで最も重視する点 - 男女別



年齢別にみると、「個人情報の安全性」は70代以上で25.9%と最も高くなっている。「AIの出力の正確性」は50代で20.9%と最も高くなっている。

図 2-6-3 AI サービスで最も重視する点 - 年齢別



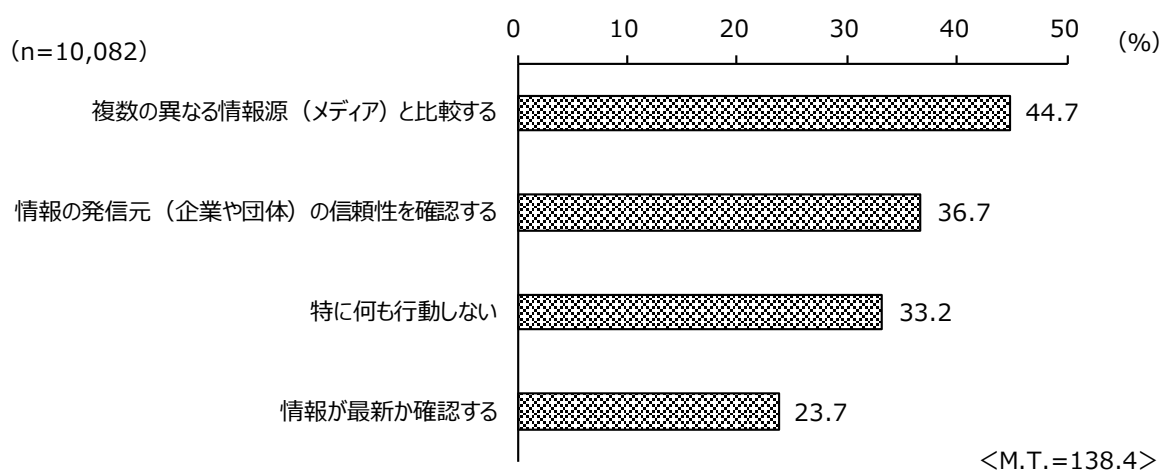
3 情報リテラシーに関すること

(全員の方に)

問 20 あなたはインターネットや SNS から流れてくる情報の真偽を確かめるためにどのような行動をしますか？ (MA)

インターネットや SNS から流れてくる情報の真偽を確かめるための行動について聞いたところ、「複数の異なる情報源（メディア）と比較する」は 44.7%、「情報の発信元（企業や団体）の信頼性を確認する」が 36.7%、「特に何も行動しない」が 33.2%、「情報が最新か確認する」は 23.7%となっている。

図 3-1 インターネット・SNS 情報の真偽確認行動



年齢別にみると、「複数の異なる情報源（メディア）と比較する」は70代以上で51.2%、「情報の発信元（企業や団体）の信頼性を確認する」は70代以上で43.7%となっている。一方、「特に何も行動しない」は30代で39.3%、10代で38.7%となっている。

表 3-1 インターネット・SNS 情報の真偽確認行動 - 男女別、年齢別

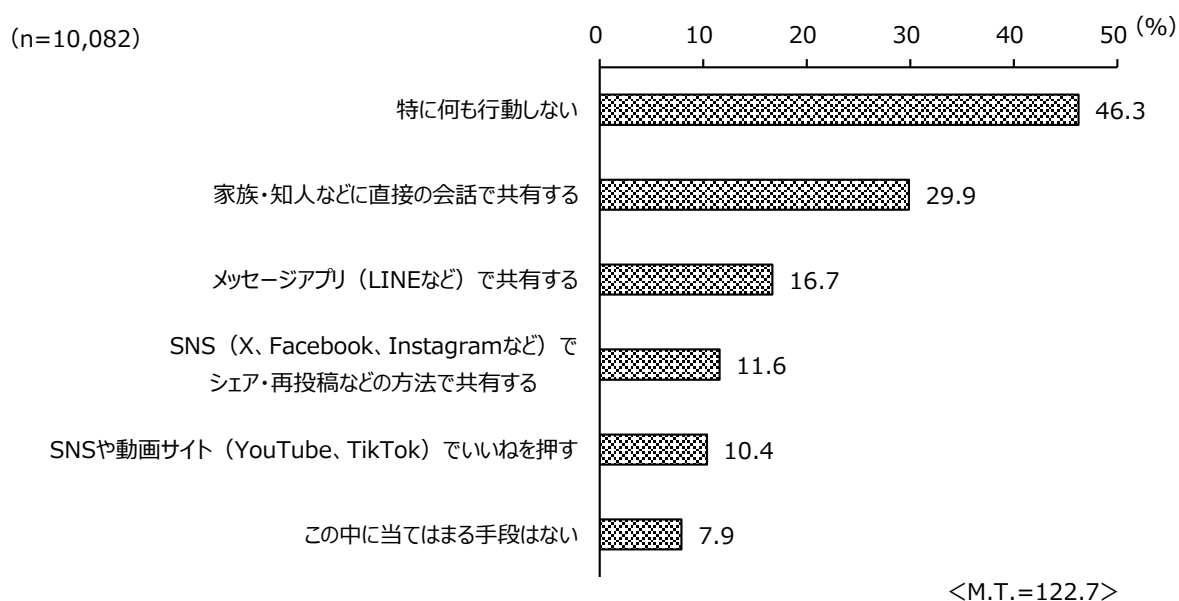
	n	複数の異なる情報源（メディア）と比較する	情報の発信元（企業や団体）の信頼性を確認する	情報が最新か確認する	特に何も行動しない
全体	10,082	44.7	36.7	23.7	33.2
<男女別>					
男性	5,038	46.7	37.8	23.7	32.2
女性	4,927	43.1	36.0	23.9	33.7
<年齢別>					
10代	470	40.2	32.8	20.2	38.7
20代	1,398	41.8	36.8	23.7	32.5
30代	1,480	38.3	34.9	24.2	39.3
40代	1,660	43.3	35.3	24.5	36.1
50代	1,798	44.7	34.4	23.9	33.6
60代	1,213	48.8	34.2	23.1	31.3
70代以上	2,063	51.2	43.7	23.8	26.5

(全員の方に)

問 21 あなたはインターネットや SNS などから流れてくる情報を見てその内容が気になったとき、ほかの人にどのような手段で伝えようと思いますか？ (MA)

インターネットや SNS などから流れてくる情報を見てその内容が気になったとき、ほかの人に伝える手段を聞いたところ、「特に何も行動しない」は 46.3%、「家族・知人などに直接の会話で共有する」は 29.9%、「メッセージアプリ（LINE など）で共有する」が 16.7%となっている。

図 3-2 インターネット・SNS 情報の共有手段



年齢別にみると、「SNS（X、Facebook、Instagram など）でシェア・再投稿などの方法で共有する」は20代で24.0%となっている。「家族・知人などに直接の会話で共有する」は70代以上で43.9%となっている。

表 3-2 インターネット・SNS 情報の共有手段 - 男女別、年齢別

	n	SNS（X、Facebook、Instagram など）でシェア・再投稿などの方法で共有する	メッセージアプリ（LINE など）で共有する	家族・知人などに直接の会話で共有する	SNS や動画サイト（YouTube、TikTok）でいいねを押す	この中に当てはまる手段はない	特に何も行動しない
全体	10,082	11.6	16.7	29.9	10.4	7.9	46.3
<男女別>							
男性	5,038	12.3	15.6	26.2	10.4	8.7	48.3
女性	4,927	10.9	18.1	34.0	10.4	7.2	43.6
<年齢別>							
10代	470	20.4	25.7	28.3	19.1	3.8	40.6
20代	1,398	24.0	22.6	28.0	17.2	5.9	39.1
30代	1,480	16.8	16.6	23.2	14.9	5.1	51.8
40代	1,660	11.6	16.4	25.6	11.1	7.1	50.6
50代	1,798	7.6	12.5	25.0	8.0	9.0	52.4
60代	1,213	5.4	14.4	30.1	4.9	10.0	49.5
70代以上	2,063	4.6	15.9	43.9	5.2	10.7	37.7

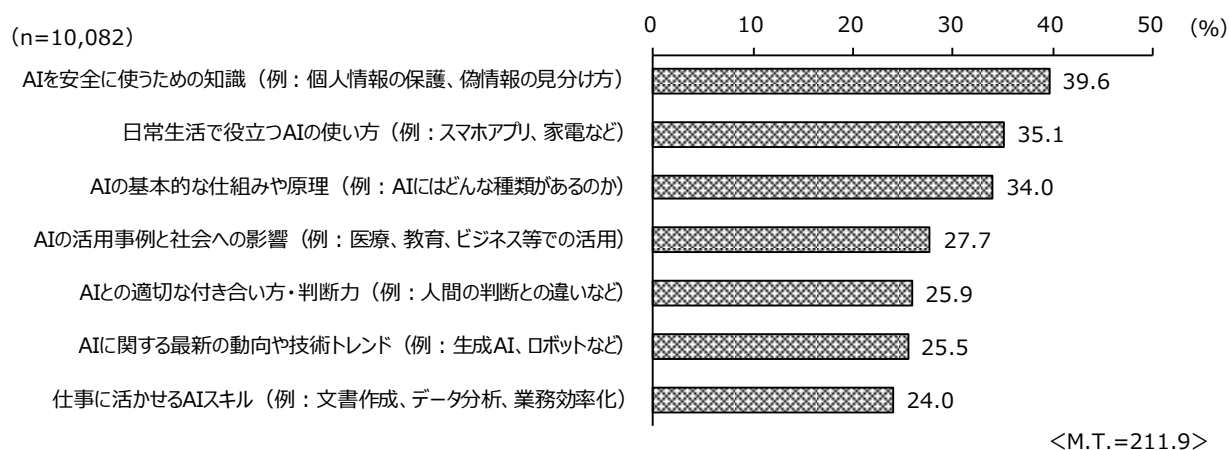
4 AI リテラシー向上施策に対する希望

(全員の方に)

問 22 あなたが「AI」について学ぶ機会があるとすれば、どのような知識を得たいと思いますか？ (MA)

AI について学ぶ機会ではどのような知識を得たいか聞いたところ、「AI を安全に使うための知識 (例：個人情報の保護、偽情報の見分け方)」は 39.6%、「日常生活で役立つ AI の使い方 (例：スマホアプリ、家電など)」は 35.1%となっている。

図 4-1 AI について学ぶ機会を得たい知識



年齢別にみると、「AI を安全に使うための知識」は 70 代以上で 54.8%と最も高くなっている。「AI に関する最新の動向や技術トレンド（例：生成 AI、ロボットなど）」は 10 代で 36.6%と最も高くなっている。

表 4-1 AI について学ぶ機会を得たい知識 - 男女別、年齢別

	n	AI の基本的な仕組みや原理（例：AI にはどんな種類があるのか）	AI の活用事例と社会への影響（例：医療、教育、ビジネス等での活用）	AI を安全に使うための知識（例：個人情報の保護、偽情報の見分け方）	日常生活で役立つ AI の使い方（例：スマホアプリ、家電など）	仕事に活かせる AI スキル（例：文書作成、データ分析、業務効率化）	AI との適切な付き合い方・判断力（例：人間の判断との違いなど）	AI に関する最新の動向や技術トレンド（例：生成 AI、ロボットなど）
全体	10,082	34.0	27.7	39.6	35.1	24.0	25.9	25.5
<男女別>								
男性	5,038	37.0	30.0	37.9	32.6	26.0	23.4	27.4
女性	4,927	31.2	25.8	41.9	38.1	22.3	28.7	22.7
<年齢別>								
10 代	470	29.6	24.7	34.9	23.0	20.2	23.2	36.6
20 代	1,398	29.7	25.9	33.0	26.5	26.0	20.1	31.5
30 代	1,480	29.7	28.0	30.5	28.8	28.4	21.6	33.1
40 代	1,660	31.2	28.7	34.2	32.3	29.6	22.5	27.3
50 代	1,798	33.0	26.3	38.3	33.3	28.1	22.9	20.6
60 代	1,213	35.0	25.7	43.9	40.1	21.5	27.9	19.7
70 代以上	2,063	43.4	31.2	54.8	49.2	14.0	37.6	19.5

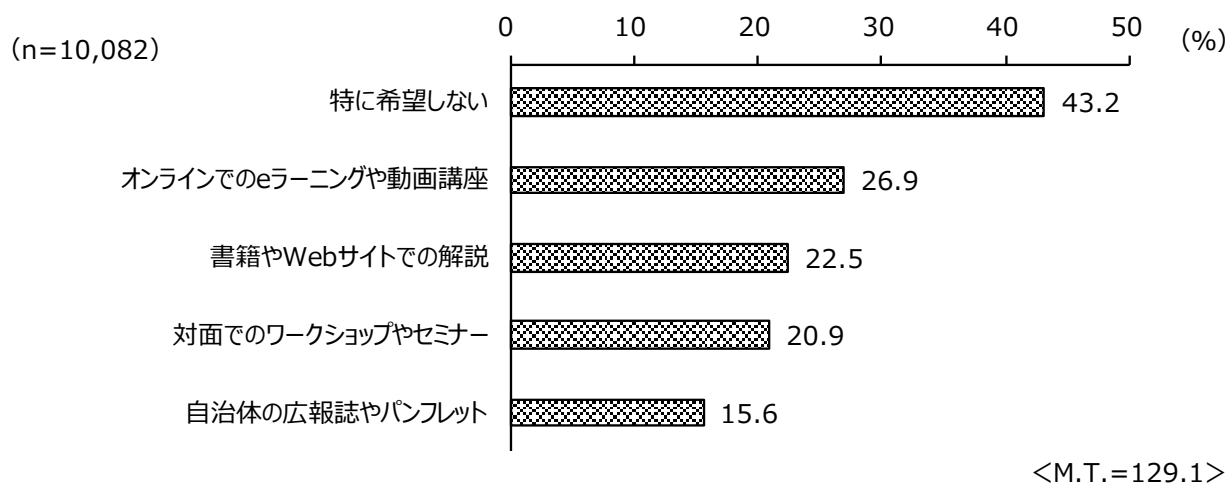
(全員の方に)

問 23 あなたが「AI」について学ぶ機会があるとすれば、どのような方法を希望しますか？

(MA)

AI について学ぶ方法については、「特に希望しない」が 43.2%、「オンラインでの e ラーニングや動画講座」が 26.9%、「書籍や Web サイトでの解説」が 22.5%となっている。

図 4-2 AI について学ぶ方法



年齢別にみると、「対面でのワークショップやセミナー」は70代以上で33.9%と最も高くなっている。「オンラインでのeラーニングや動画講座」は50代で29.4%、40代で29.3%となっている。

表 4-2 AI について学ぶ方法 - 男女別、年齢別

	n	オンラインでのeラーニングや動画講座	対面でのワークショップやセミナー	書籍やWebサイトでの解説	自治体の広報誌やパンフレット	特に希望しない
全体	10,082	26.9	20.9	22.5	15.6	43.2
<男女別>						
男性	5,038	30.3	21.0	25.4	13.6	41.7
女性	4,927	23.9	21.2	19.7	17.9	43.9
<年齢別>						
10代	470	26.0	16.4	23.6	10.0	48.1
20代	1,398	28.2	16.7	24.0	10.7	46.3
30代	1,480	24.4	14.9	22.4	10.5	52.1
40代	1,660	29.3	17.7	23.0	11.3	46.0
50代	1,798	29.4	17.9	20.8	12.4	45.8
60代	1,213	27.9	22.0	20.2	16.5	42.4
70代以上	2,063	23.6	33.9	23.5	29.6	29.4

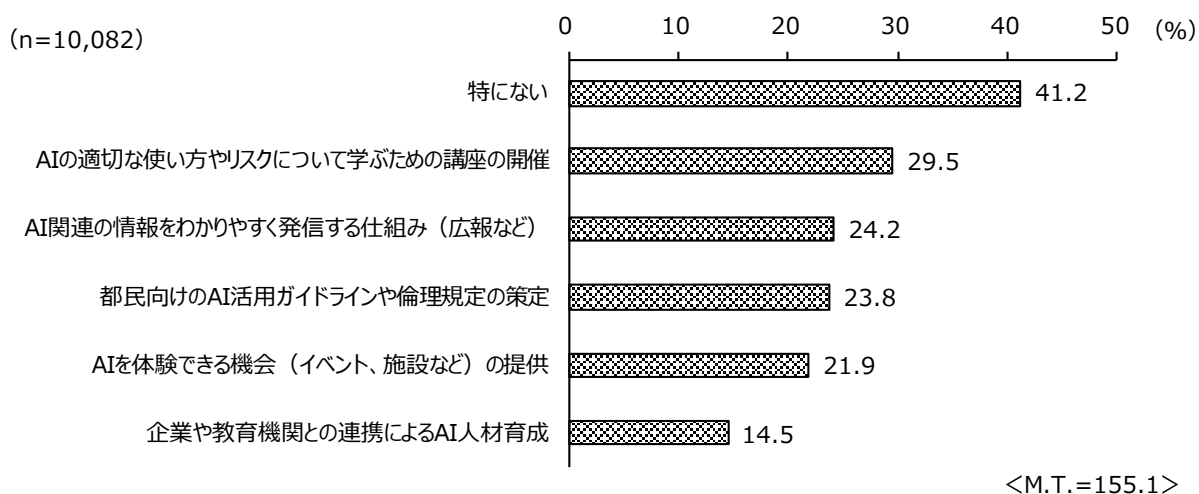
(全員の方に)

問 24 あなたは AI リテラシー向上のために、東京都にどのような施策を期待しますか？

(MA)

AI リテラシー向上のために東京都に期待する施策を聞いたところ、「AI の適切な使い方やリスクについて学ぶための講座の開催」は 29.5%、「AI 関連の情報をわかりやすく発信する仕組み（広報など）」は 24.2%となっている。

図 4-3 AI リテラシー向上のために期待する施策



年齢別にみると、「AI の適切な使い方やリスクについて学ぶための講座の開催」は 70 代以上で 45.0%、60 代で 32.2%となっている。

表 4-3 AI リテラシー向上のために期待する施策 - 男女別、年齢別

	n	AI を体験できる機会（イベント、施設など）の提供	AI の適切な使い方やリスクについて学ぶための講座の開催	企業や教育機関との連携による AI 人材育成	都民向けの AI 活用ガイドラインや倫理規定の策定	AI 関連の情報をわかりやすく発信する仕組み（広報など）	特になし
全体	10,082	21.9	29.5	14.5	23.8	24.2	41.2
<男女別>							
男性	5,038	21.1	29.9	16.3	24.5	22.9	41.4
女性	4,927	23.0	29.7	12.8	23.4	25.9	40.3
<年齢別>							
10 代	470	20.9	21.9	18.1	18.9	15.7	46.4
20 代	1,398	17.7	23.2	18.5	21.0	17.5	44.3
30 代	1,480	16.4	21.3	18.9	20.9	16.7	49.3
40 代	1,660	19.7	26.1	17.3	19.5	20.8	46.0
50 代	1,798	19.5	26.8	13.2	20.6	21.8	45.9
60 代	1,213	23.2	32.2	10.5	23.2	24.6	40.0
70 代以上	2,063	32.0	45.0	9.0	35.3	40.7	24.8

5 行政サービスにおける AI 活用の受容度

(全員の方に)

問 25 あなたは行政サービス（区役所・市役所等の窓口業務、各種申請手続など）に AI が利用されることをどの程度許容できますか？（SA）

行政サービスにおける AI 利用をどの程度許容できるかについて聞いたところ、「AI が収集した情報をもとに、人間が最終的に判断してほしい」は 35.3%、「AI は補助的な役割に留め、人間が対応してほしい」は 28.9%となっている。

図 5-1-1 行政サービスにおける AI 許容度

(n=10,082)

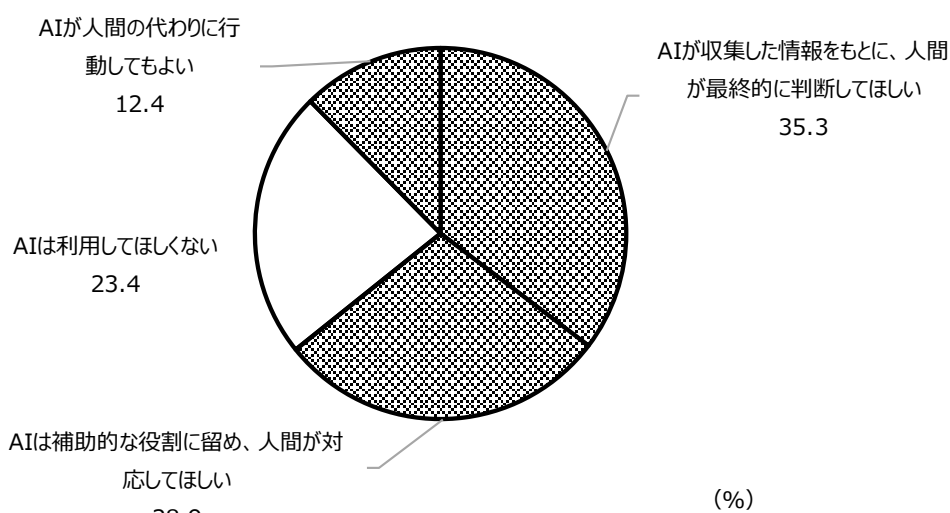
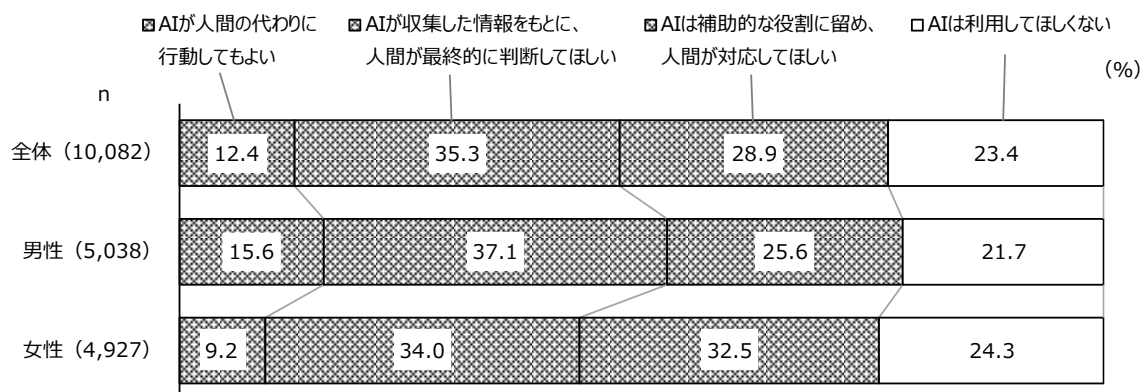
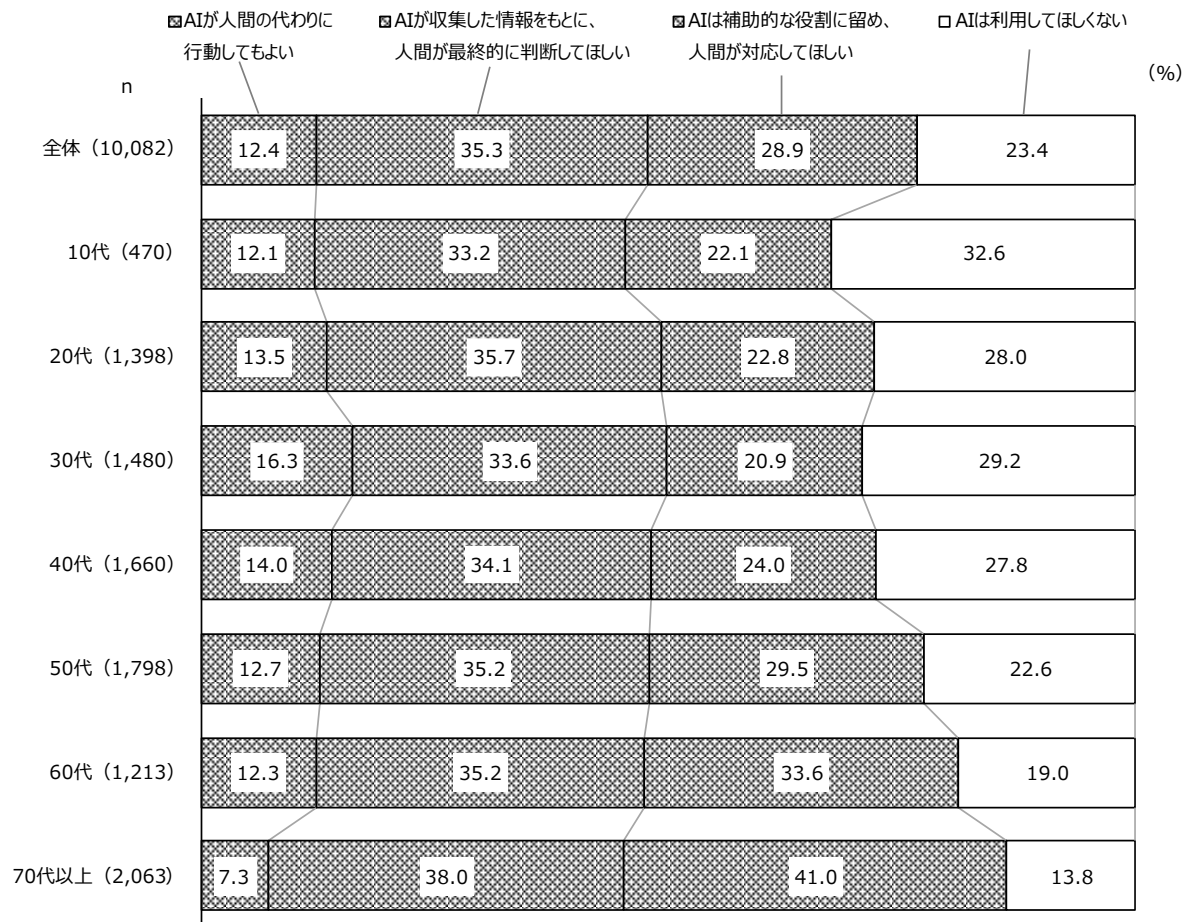


図 5-1-2 行政サービスにおける AI 許容度 - 男女別



年齢別にみると、「AIは補助的な役割に留め、人間が対応してほしい」は70代以上で41.0%となっている。「AIは利用してほしくない」は10代で32.6%となっている。

図 5-1-3 行政サービスにおける AI 許容度 - 年齢別



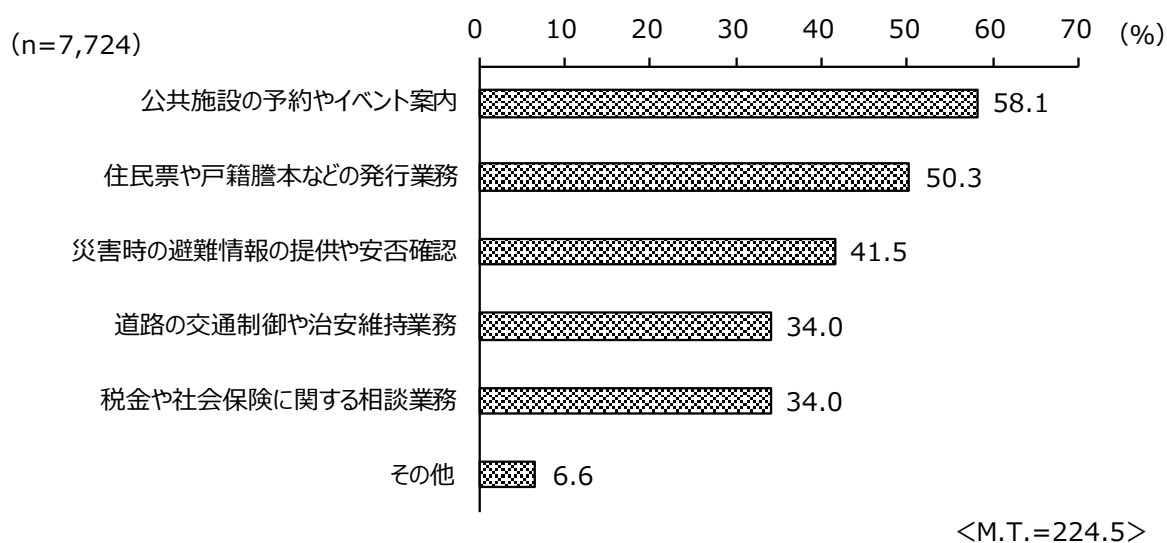
(問 25 にて「AI が人間の代わりに行動してもよい」「AI が収集した情報をもとに、人間が最終的に判断してほしい」「AI は補助的な役割に留め、人間が対応してほしい」と回答した方に)

問 26 あなたはどのような行政サービスであれば「AI」が担当してもよいと思いますか？

(MA)

AI が担当してもよい行政サービスについて聞いたところ、「公共施設の予約やイベント案内」は 58.1%、「住民票や戸籍謄本などの発行業務」は 50.3%、「災害時の避難情報の提供や安否確認」は 41.5%となっている。

図 5-2 AI 利用を許容する行政サービス



年齢別にみると、「公共施設の予約やイベント案内」は70代以上で65.8%、「税金や社会保険に関する相談業務」は30代で42.9%となっている。

表 5-1 AI 利用を許容する行政サービス - 男女別、年齢別

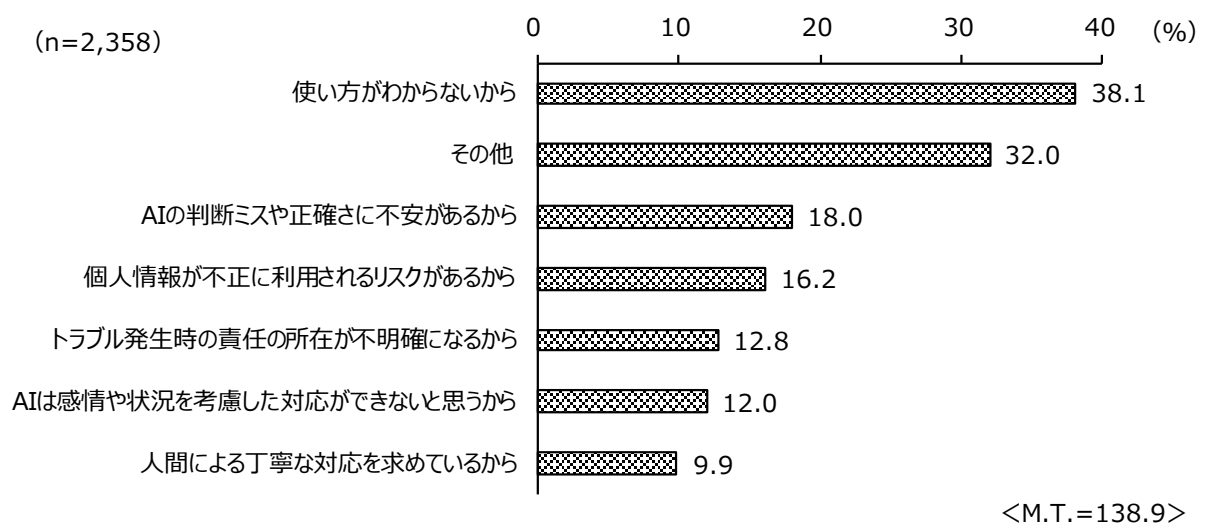
	n	住民票や戸籍謄本などの発行 業務	税金や社会保険に関する相談 業務	災害時の避難情報の提供や安 否確認	公共施設の予約やイベント案 内	道路の交通管制や治安維持業 務	その他
全体	7,724	50.3	34.0	41.5	58.1	34.0	6.6
<男女別>							
男性	3,944	53.5	40.0	42.3	56.7	36.7	6.9
女性	3,731	47.0	27.8	40.8	59.7	31.3	6.2
<年齢別>							
10代	317	37.2	30.3	37.5	52.4	26.5	9.5
20代	1,007	42.0	38.7	36.7	53.2	29.3	6.9
30代	1,048	45.4	42.9	40.8	51.2	33.0	9.4
40代	1,198	50.8	37.4	38.1	56.2	35.0	7.2
50代	1,392	49.8	35.1	37.7	57.2	35.8	7.4
60代	983	53.7	30.4	40.3	61.7	31.4	5.9
70代以上	1,779	58.2	25.5	51.3	65.8	38.0	3.8

(問 25 にて「AI は利用してほしくない」と回答した方に)

問 27 あなたが行政サービスで「AI」を利用してほしくない理由は何ですか？ (MA)

行政サービスで AI を利用してほしくない理由について聞いたところ、「使い方がわからないから」は 38.1%、「AI の判断ミスや正確さに不安があるから」は 18.0%、「個人情報 that 不正に利用されるリスクがあるから」は 16.2%となっている。

図 5-3 行政サービスでの AI 利用を拒否する理由



年齢別にみると、「使い方がわからないから」は70代以上で41.9%、30代で41.2%となっている。「AIの判断ミスや正確さに不安があるから」は60代で29.6%となっている。

表 5-2 行政サービスでのAI利用を拒否する理由 - 男女別、年齢別

	n	AIの判断ミスや正確さに不安があるから	トラブル発生時の責任の所在が不明確になるから	個人情報不正に利用されるリスクがあるから	人間による丁寧な対応を求めているから	AIは感情や状況を考慮した対応ができないと思うから	使い方がわからないから	その他
全体	2,358	18.0	12.8	16.2	9.9	12.0	38.1	32.0
<男女別>								
男性	1,094	17.1	13.1	13.4	8.7	11.6	38.3	34.5
女性	1,196	19.5	12.9	19.1	11.5	12.9	38.5	27.8
<年齢別>								
10代	153	7.2	3.9	7.2	4.6	3.9	36.6	54.2
20代	391	13.6	9.0	10.0	6.6	8.2	35.5	38.6
30代	432	10.6	6.3	10.2	5.3	6.0	41.2	37.0
40代	462	18.0	12.1	15.8	6.5	12.6	38.1	31.4
50代	406	20.7	15.5	18.2	9.6	14.0	38.7	25.6
60代	230	29.6	17.8	24.8	15.2	16.1	31.7	27.4
70代以上	284	28.2	26.1	29.2	25.7	23.6	41.9	16.9

6 AI利用と将来展望

(全員の方に)

問 28 あなたは将来、「AI」がより身近になることで、生活や仕事がどのように変化すると想像しますか？ (SA)

将来 AI が身近になった場合の生活や仕事の変化として想像するものについて聞いたところ、「AI に頼りすぎて、人間の能力が衰える」は 23.0%、「人手不足が解消され、サービスが維持・向上する」は 21.6%、「より快適で便利な生活が送れるようになる」は 16.9%となっている。

図 6-1-1 AI による将来の変化

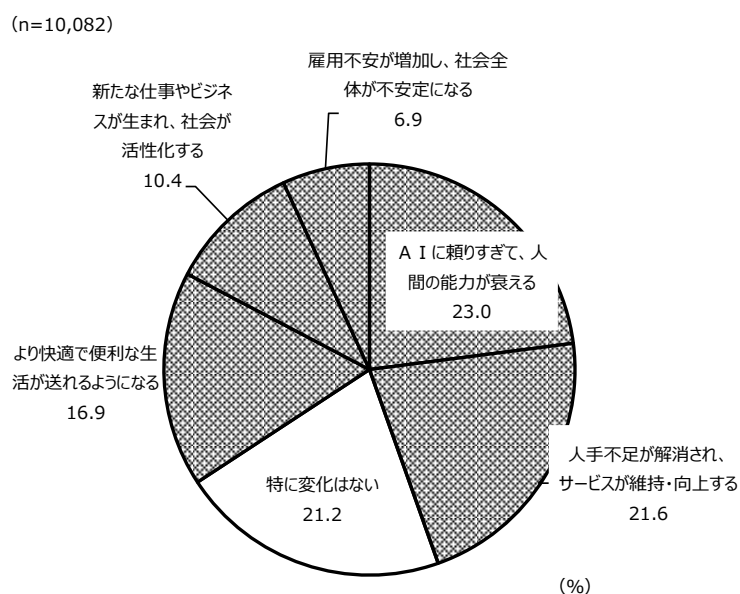
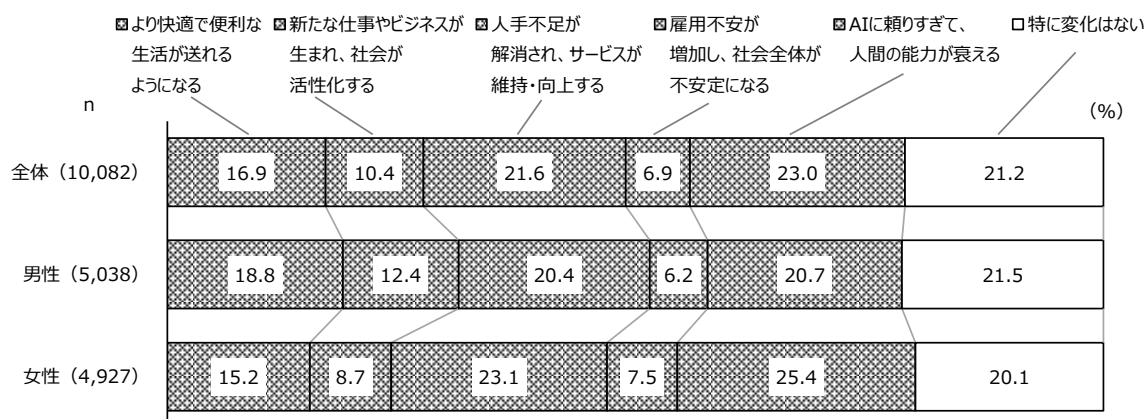
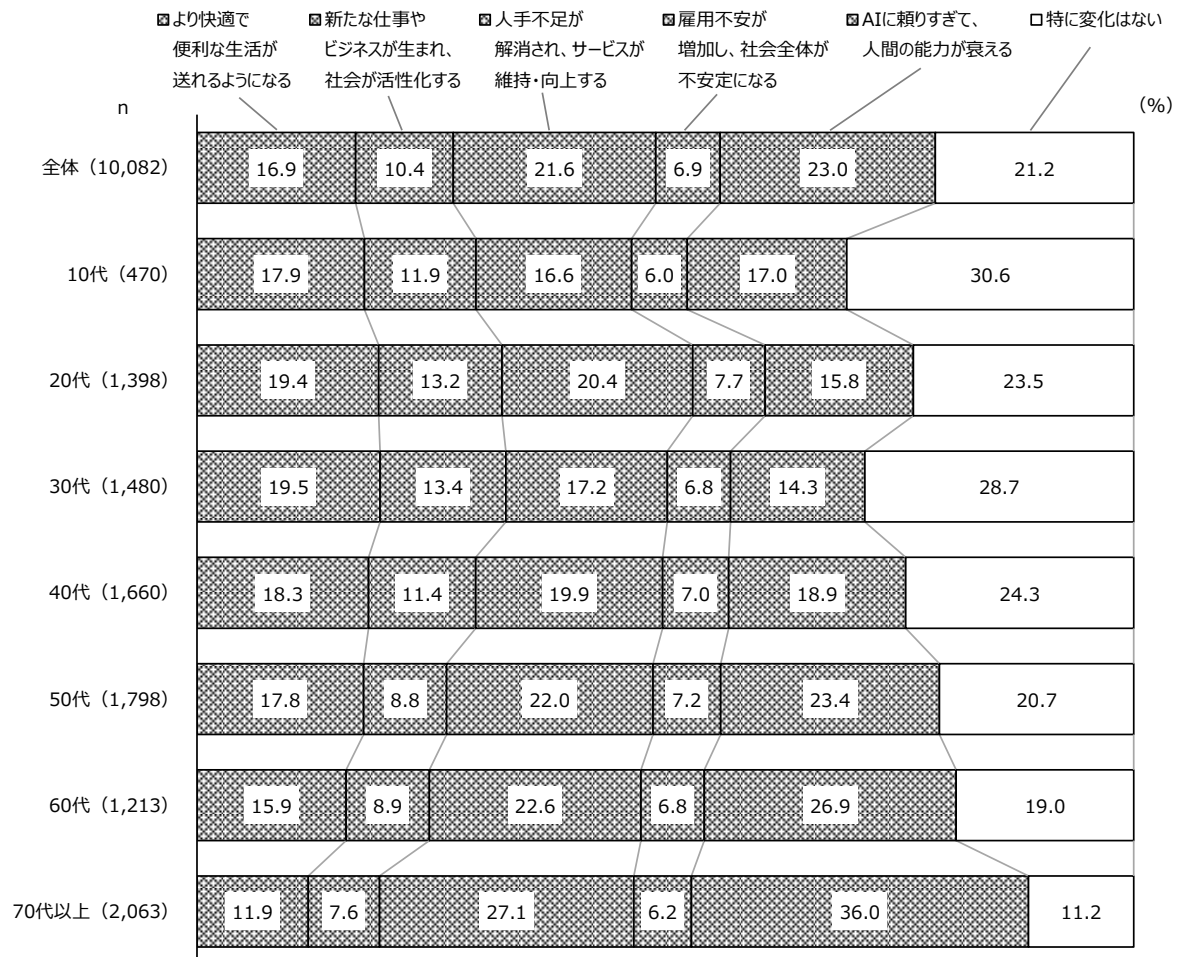


図 6-1-2 AI による将来の変化 - 男女別



年齢別にみると、「より快適で便利な生活が送れるようになる」は30代で19.5%、「人手不足が解消され、サービスが維持・向上する」は70代以上で27.1%となっている。一方、「AIに頼りすぎて、人間の能力が衰える」は70代以上で36.0%となっている。

図 6-1-3 AIによる将来の変化 - 年齢別

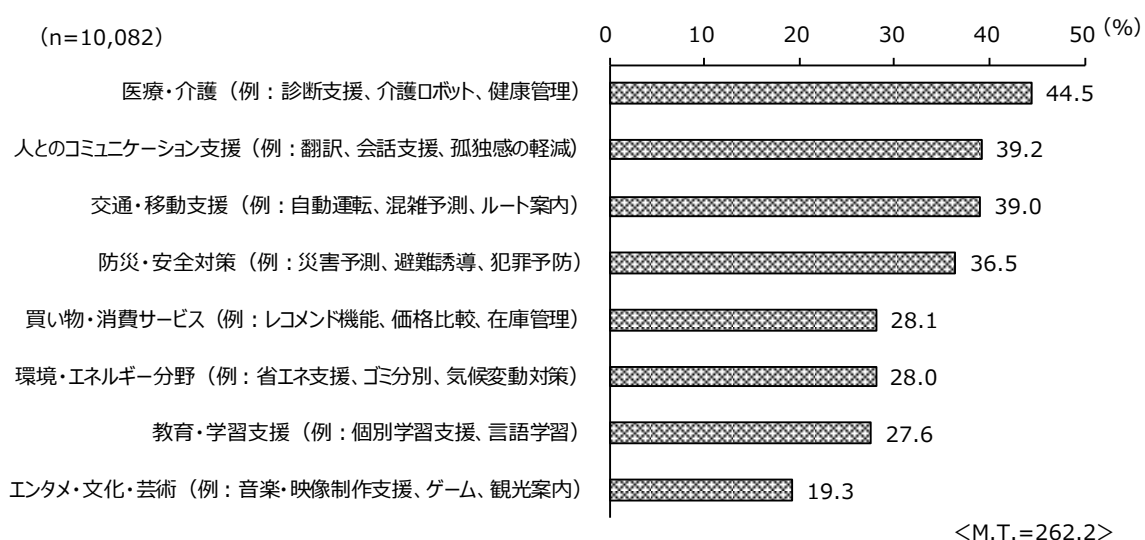


(全員の方に)

問 29 あなたは将来どのような分野で「AI」を使ったサービスが使われることを期待しますか？ (MA)

将来 AI を使ったサービスを期待する分野について聞いたところ、「医療・介護（例：診断支援、介護ロボット、健康管理）」が 44.5%、「人とのコミュニケーション支援（例：翻訳、会話支援、孤独感の軽減）」が 39.2%、「交通・移動支援（例：自動運転、混雑予測、ルート案内）」が 39.0%となっている。

図 6-2 AI 利用を期待するサービスの分野



年齢別にみると、「医療・介護」は70代以上で64.2%となっている。「人とのコミュニケーション支援」は10代で44.9%となっている。

表 6-1 AI利用を期待するサービスの分野 - 男女別、年齢別

	n	医療・介護 (例…診断支援、介護ロボット、健康管理)	教育・学習支援 (例…個別学習支援、言語学習)	交通・移動支援 (例…自動運転、混雑予測、ルート案内)	防災・安全対策 (例…災害予測、避難誘導、犯罪予防)	買い物・消費サービス (例…レコメンド機能、価格比較、在庫管理)	エンタメ・文化・芸術 (例…音楽・映像制作支援、ゲーム、観光案内)	環境・エネルギー分野 (例…省エネ支援、ゴミ分別、気候変動対策)	人とのコミュニケーション支援 (例…翻訳、会話支援、孤独感の軽減)
全体	10,082	44.5	27.6	39.0	36.5	28.1	19.3	28.0	39.2
<男女別>									
男性	5,038	45.2	31.4	41.9	37.9	28.0	21.2	28.9	39.4
女性	4,927	44.3	24.0	36.5	35.6	28.5	17.5	27.5	38.4
<年齢別>									
10代	470	31.3	30.0	26.8	27.4	30.4	23.0	20.2	44.9
20代	1,398	31.4	28.2	31.8	27.4	28.2	21.8	21.8	39.1
30代	1,480	33.4	25.9	33.0	30.3	29.5	22.2	22.6	43.6
40代	1,660	39.3	27.0	38.7	33.4	28.2	20.7	25.4	39.7
50代	1,798	44.3	27.5	39.9	35.5	27.2	18.5	26.6	35.9
60代	1,213	51.9	26.3	43.4	37.5	25.9	16.3	30.8	36.3
70代以上	2,063	64.2	29.3	47.9	51.8	28.6	16.0	39.7	38.8

調査票

基本情報（フェースシート）

Q 1 あなたの性別をお聞かせください。（○は1つ）

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 回答しない

Q 2 あなたの年齢をお聞かせください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 19歳以下 | 5. 50～59歳 |
| 2. 20～29歳 | 6. 60～69歳 |
| 3. 30～39歳 | 7. 70歳以上 |
| 4. 40～49歳 | |

Q 3 あなたの現在の職業について、最もあてはまるものをお選びください。（○は1つ）

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 会社員（正社員） | 6. 専業主婦／主夫 |
| 2. 会社員（契約社員・派遣社員・パート・アルバイト） | 7. 学生 |
| 3. 公務員 | 8. 無職・リタイア |
| 4. 自営業・フリーランス | 9. その他 |
| 5. 専門職（医師、弁護士など） | |

Q 4 現在、同居しているご家族について、あてはまるものをすべてお選びください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1. 配偶者 | 5. 祖父母（いずれか、または両方） |
| 2. 子ども | 6. 兄弟・姉妹 |
| 3. 孫 | 7. その他（叔父・叔母、いとこ、義理の家族など） |
| 4. 両親（父母のいずれか、または両方） | 8. 同居している家族はいない |

インターネット・デジタルの利用状況に関する設問

インターネットやデジタルの利用状況についてお聞きします。

Q 5 あなたは普段、インターネットをどのような機器で利用していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. スマートフォン | 5. スマートテレビ |
| 2. パソコン（デスクトップ） | 6. その他 |
| 3. パソコン（ノートPC） | 7. 特に利用する機器はない |
| 4. タブレット | |

Q 6 あなたはインターネットをどのくらいの頻度で利用しますか。（○は1つ）

1. 1日に複数回利用する
2. 週に数回利用する
3. 月に数回利用する
4. ほとんど利用しない

Q 7 あなたは日常の情報収集に、主にどのツールやサービスを利用しますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|----------------------------|
| 1. テレビ、ラジオ | 6. 生成AI (ChatGPT、Geminiなど) |
| 2. 新聞、雑誌 | 7. 知人、家族 |
| 3. Webサイト、ニュースアプリ | 8. 行政の広報誌、Webサイト |
| 4. SNS (X、Facebook、Instagramなど) | 9. その他 |
| 5. 動画サイト (YouTube、TikTok) | |

Q 8 あなたは以下の媒体から得られる情報に関する信頼度についてどう考えていますか。
信頼度の高いものを3つまでお選びください。(右の回答欄に選択肢番号 1～8 を記入)

<選択肢>

- | |
|-------------------------------------|
| 1. テレビ、ラジオの情報 |
| 2. 新聞、雑誌の情報 |
| 3. Webサイト、ニュースアプリの情報 |
| 4. SNS (X、Facebook、Instagramなど) の情報 |
| 5. 動画サイト (YouTube、TikTok) からの情報 |
| 6. 生成AI (ChatGPT、Geminiなど) の情報 |
| 7. 知人、家族からの情報 |
| 8. 行政の広報誌、Webサイトの情報 |

<回答欄>

--	--	--

(選択肢番号を記入)

AIの利用状況に関する設問

AI (人工知能) の利用状況についてお聞きます。

Q 9 あなたは「AI (人工知能)」という言葉聞いたことがありますか。(○は1つ)

1. 聞いたことがあり、どのようなものか理解している
2. 聞いたことはあるが、どのようなものか理解していない
3. 聞いたことがない

Q 10 あなたはプライベートで「AI」を利用したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 1. 1日に複数回利用する | 4. 利用したことはあるが、今は利用していない |
| 2. 週に数回利用する | 5. 利用したことはないが、今後利用してみたい |
| 3. 月に数回利用する | 6. 利用したことがなく、今後も利用する予定はない |

Q 11 あなたの仕事や学業で「AI」を利用したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 1. 1日に複数回利用する | 4. 利用したことはあるが、今は利用していない |
| 2. 週に数回利用する | 5. 利用したことはないが、今後利用してみたい |
| 3. 月に数回利用する | 6. 利用したことがなく、今後も利用する予定はない |

※現在仕事や学業に従事していない方は、仕事や学業でのこれまでの経験・今後の利用意向についてお答えください。

Q10で「1.」～「3.」を選んだ（プライベートで現在利用している）方
または
Q11で「1.」～「3.」を選んだ（仕事や学業で現在利用している）方
にお聞きます。

Q 12 あなたが「AI」を使う主な目的・理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 業務の効率化（資料・文書作成、データ整理、スケジュール管理など）
2. 情報収集と調査（ニュース、専門知識、商品情報など）
3. アイデア出しや企画支援（イラスト、音楽、文章の作成など）
4. コミュニケーション支援（翻訳、文章の言い換え、チャットなど）
5. 日常生活のサポート（レシピ、旅行計画、買い物支援など）
6. 学習やスキルアップ（語学、資格取得、プログラミングなど）
7. 趣味・娯楽（ゲーム、雑談、占いなど）
8. その他

→Q12 回答後は次ページのQ14へ

Q12を回答していない方
Q10で「4.」～「6.」を選んだ（プライベートで現在利用していない・利用したことがない）
かつ
Q11で「4.」～「6.」を選んだ（仕事や学業で現在利用していない・利用したことがない）
方にお聞きます。

Q 13 あなたが「AI」を利用しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 使い方がわからないから
2. 自分の生活や仕事・学業に必要ないから
3. 魅力的なサービスがないから
4. 費用がかかるから
5. 情報漏洩やセキュリティに不安があるから
6. 出力される情報の正確性や質に不安があるから
7. その他
8. 特に理由はない

全員にお聞きます。

「AI」に対するイメージや考えについてお聞きます。

Q 14 「AI」はあなたの生活や社会にどのような影響を与えますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 生活がより便利で豊かになる
2. 社会課題（環境、医療、災害など）の解決につながる
3. 仕事の効率が上がり、無駄な業務が減る
4. 新しいアイデアやイノベーションが生まれる
5. 人とのコミュニケーションが希薄になる
6. 個人情報やプライバシーの侵害につながる
7. 雇用機会が減少し、仕事なくなる
8. 誤った情報が拡散されるリスクがある
9. 特に影響はない

Q 15 「AI」と人間を比較した場合、「AI」はどのような存在だと思いますか。（○は1つ）

1. 人間の仕事を完全に代替するもの
2. 人間の仕事をサポートする道具
3. 人間がコントロールできない自律的な存在
4. 人間とは異なる新しい価値観を持つ存在
5. 特に何も思わない

Q 16 あなたは、どのようなAIサービスに期待しますか。

最もあてはまるものを1つ選択してください。（○は1つだけ）

1. 家事や育児をサポートしてくれるAI
2. 病気の診断や治療計画を提案してくれるAI
3. 行政手続きを自動で完了してくれるAI
4. 自動車の自動運転を支援してくれるAI
5. 仕事や学業の効率を上げてくれるAI
6. 個人の趣味や好みに合ったコンテンツを提案してくれるAI
7. 特に期待するものはない

Q 17 あなたは、自分の個人情報（氏名、住所、連絡先など）や行動履歴が「AI」の学習に利用されることをどのように感じますか。（○は1つ）

1. 抵抗を感じる
2. どちらかといえば抵抗を感じる
3. どちらかといえば抵抗を感じない
4. 抵抗は全くない

Q 18 あなたは「AI」が生成した情報（画像、動画、音楽、文章など）に、
AIが作成したものであることを示す表記は必要だと思いますか。（○は1つ）

1. 必ず必要だと思う
2. どちらかといえば必要だと思う
3. どちらかといえば必要ないと思う
4. 必要ないと思う

Q 19 あなたが「AI」を活用したサービスを利用する際に、どのような点を重視しますか。
最も重視する点を1つ選択してください。（○は1つだけ）

1. 提供されるサービスの価格
2. サービスの利便性や効率性
3. 個人情報の安全性
4. AIの出力の正確性
5. サービス提供元の信頼性
6. AIがどのように使われているかの透明性
7. 特に重視する点はない

情報リテラシーに関する設問

「AI」の普及により、見た目では真偽が分かりにくい情報も増えています。

Q 20 あなたはインターネットやSNSから流れてくる情報の真偽を確かめるために
どのような行動をしますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 複数の異なる情報源（メディア）と比較する
2. 情報の発信元（企業や団体）の信頼性を確認する
3. 情報が最新か確認する
4. 特に何も行動しない

Q 21 あなたはインターネットやSNSなどから流れてくる情報を見て その内容が気になったとき、
ほかの人にどのような手段で伝えようと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. SNS（X、Facebook、Instagramなど）でシェア・再投稿などの方法で共有する
2. メッセージアプリ（LINEなど）で共有する
3. 家族・知人などに直接の会話で共有する
4. SNSや動画サイト（YouTube、TikTok）でいいねを押す
5. この中に当てはまる手段はない
6. 特に何も行動しない

今後の「AI」に関する学習意向についてお聞きます。

Q 22 あなたが「AI」について学ぶ機会があるとすれば、どのような知識を得たいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. AIの基本的な仕組みや原理 (例: AIにはどんな種類があるのか)
2. AIの活用事例と社会への影響 (例: 医療、教育、ビジネス等での活用)
3. AIを安全に使うための知識 (例: 個人情報の保護、偽情報の見分け方)
4. 日常生活で役立つAIの使い方 (例: スマホアプリ、家電など)
5. 仕事に活かせるAIスキル (例: 文書作成、データ分析、業務効率化)
6. AIとの適切な付き合い方・判断力 (例: 人間の判断との違いなど)
7. AIに関する最新の動向や技術トレンド (例: 生成AI、ロボットなど)

「AI」を学ぶ機会があった際に希望する方法についてお聞きます。

Q 23 あなたが「AI」について学ぶ機会があるとすれば、どのような方法を希望しますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. オンラインでのeラーニングや動画講座
2. 対面でのワークショップやセミナー
3. 書籍やWebサイトでの解説
4. 自治体の広報誌やパンフレット
5. 特に希望しない

Q 24 あなたはAIリテラシー向上のために、東京都にどのような施策を期待しますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. AIを体験できる機会 (イベント、施設など) の提供
2. AIの適切な使い方やリスクについて学ぶための講座の開催
3. 企業や教育機関との連携によるAI人材育成
4. 都民向けのAI活用ガイドラインや倫理規定の策定
5. AI関連の情報を分かりやすく発信する仕組み (広報など)
6. 特にない

Q 25 あなたは行政サービス（区役所・市役所等の窓口業務、各種申請手続など）に「AI」が利用されることをどの程度許容できますか。（○は1つ）

1. AIが人間の代わりに行動してもよい
2. AIが収集した情報をもとに、人間が最終的に判断してほしい
3. AIは補助的な役割に留め、人間が対応してほしい
4. AIは利用してほしくない → Q27へ

Q26へ

Q25で「1.」「2.」「3.」と回答した方にお聞きます。

Q 26 あなたはどのような行政サービスであれば「AI」が担当してもよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 住民票や戸籍謄本などの発行業務
2. 税金や社会保険に関する相談業務
3. 災害時の避難情報の提供や安否確認
4. 公共施設の予約やイベント案内
5. 道路の交通制御や治安維持業務
6. その他

→Q26 回答後は次ページのQ28へ

Q25で「4. AIは利用してほしくない」と回答した方にお聞きます。

Q 27 あなたが行政サービスで「AI」を利用してほしくない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. AIの判断ミスや正確さに不安があるから
2. トラブル発生時の責任の所在が不明確になるから
3. 個人情報 that 不正に利用されるリスクがあるから
4. 人間による丁寧な対応を求めているから
5. AIは感情や状況を考慮した対応ができないと思うから
6. 使い方がわからないから
7. その他

全員にお聞きます。

※よくわからないという方も、できるだけ、イメージで結構ですでお答えください

「AI」の将来像についてお聞きます。

Q 28 あなたは将来、「AI」がより身近になることで、生活や仕事がどのように変化すると想像しますか。
ご自身のお気持ちに最も近いものを1つ選択してください。（○は1つだけ）

1. より快適で便利な生活が送れるようになる
2. 新たな仕事やビジネスが生まれ、社会が活性化する
3. 人手不足が解消され、サービスが維持・向上する
4. 雇用不安が増加し、社会全体が不安定になる
5. AIに頼りすぎて、人間の能力が衰える
6. 特に変化はない

Q 29 あなたは将来どのような分野で「AI」を使ったサービスが使われることを期待しますか。
（あてはまるものすべてに○）

1. 医療・介護（例：診断支援、介護ロボット、健康管理）
2. 教育・学習支援（例：個別学習支援、言語学習）
3. 交通・移動支援（例：自動運転、混雑予測、ルート案内）
4. 防災・安全対策（例：災害予測、避難誘導、犯罪予防）
5. 買い物・消費サービス（例：レコメンド機能、価格比較、在庫管理）
6. エンタメ・文化・芸術（例：音楽・映像制作支援、ゲーム、観光案内）
7. 環境・エネルギー分野（例：省エネ支援、ゴミ分別、気候変動対策）
8. 人とのコミュニケーション支援（例：翻訳、会話支援、孤独感の軽減）

アンケートは以上で終了です。

アンケート1ページ目に、会員番号、お名前、電話番号のご記入があるか

全体を通して 回答のページ飛ばしがないか

今一度ご確認いただきまして、ご返送ください。

ご協力いただきまして、どうもありがとうございました。